

(43) 国際公開日
2006年3月9日 (09.03.2006)

PCT

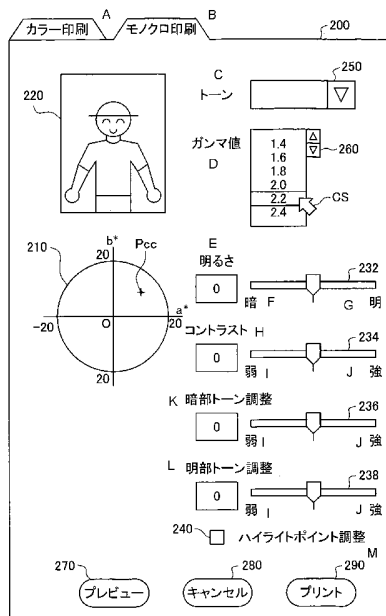
(10) 国際公開番号
WO 2006/025202 A1

- (51) 国際特許分類:
H04N 1/46 (2006.01) H04N 1/407 (2006.01)
G06T 5/00 (2006.01) H04N 1/60 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2005/014714
- (22) 国際出願日: 2005年8月4日 (04.08.2005)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2004-252294 2004年8月31日 (31.08.2004) JP
- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION) [JP/JP]; 〒1630811 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 吉田 世新 (YOSHIDA, Seishin) [JP/JP]; 〒3928502 長野県諏訪市
- (74) 代理人: 特許業務法人 明成国際特許事務所 (TOKKYO GYOMUHOJIN MEISEI INTERNATIONAL PATENT FIRM); 〒4600003 愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル7階 Aichi (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD,

/ 続葉有 /

(54) Title: IMAGE PROCESSING OF COLOR IMAGE AND MONOCHROMATIC IMAGE

(54) 発明の名称: カラー画像とモノクロ画像の画像処理



A COLOR PRINT
B MONOCHROMATIC PRINT
C TONE
D GAMMA VALUE
E BRIGHTNESS
F DARK
G BRIGHT
H CONTRAST
I LOW
J HIGH
K ADJUST DARK TONE
L ADJUST BRIGHT TONE
M ADJUST HIGHLIGHT POINT
270 PREVIEW
280 CANCEL
290 PRINT

(57) Abstract: When new image data is to be generated by modifying the image tones of image data, the following processing operations are performed. At first, a user is made to select one from a plurality of modification candidate parameters corresponding to different modification contents. In accordance with the selected parameter, modified image data is generated with a difference in the color of pixels of at least one portion from the object image data. In case the object image data is the colored one, the parameter is selected from an Nc number of color image modification candidate parameters. In the case of the monochromatic image data, the parameter is selected from an Nm (i.e., an integer larger than Nc) number of monochromatic image modification candidate parameters. By these processing operations, image processing means for satisfying the demands of a user having well-cultivated tastes can be provided without requiring an ordinal user for complicated operations.

(57) 要約: 画像データの画像の色調を改変して新たな画像データを生成する際に、以下の処理を行う。まず、互いに異なる改変内容に対応する複数の改変候補パラメータの中から、ユーザにパラメータを選択させる。そして、選択されたパラメータに応じて、対象画像データとは少なくとも一部の画素の色が異なる改変画像データを生成する。なお、対象画像データがカラー画像データの場合には、Nc個のカラー画像用改変候補パラメータの中から選択させる。モノクロ画像データの場合には、Nm個(NmはNcより大きい整数)のモノクロ画像用改変候補パラメータの中から選択させる。このような処理を行うことで、一般ユーザが行う作業を煩雑にすることなく、趣味性の高いユーザの要求を満たす画像処理手段を提供することができる。



SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明細書

カラー画像とモノクロ画像の画像処理

技術分野

5 この発明は、画像データの画像の色調を調整する技術に関する。

背景技術

従来より、画像データの画像の色調を調整し、必要に応じて印刷することができるアプリケーションソフトが存在する。色調の調整においては、具体的に
10 は、画像を構成する各画素の色の階調値が改変される。特開平 8 - 2 1 4 1 6
4 号公報および特開平 5 - 3 2 3 7 5 0 号公報の画像変換では、入力階調値に対する出力階調値を規定している所定のトーンカーブに従って、画素の階調値を変換している。

15 従来からの銀塩写真愛好家など、モノクロ画像のデータを頻繁に扱い、かつ、
その際に微妙な画質の調整を希望するユーザにとっては、微妙な調整が可能な
画像処理システムが望ましい。しかし、微妙な調整が可能な画像処理システム
は、操作画面の構成も複雑となり、操作も煩雑となる。色調の微妙な調整まで
は望まない一般ユーザにとっては、そのような画像処理システムを使うことは、
20 煩雑である。

本発明はかかる点に鑑みてなされたもので、一般ユーザが行う作業を煩雑にすることなく、モノクロ画像の処理を行う趣味性の高いユーザの要求を満たす画像処理手段を提供することを主たる目的とする。

なお、日本国特許出願、特願 2 0 0 4 - 2 5 2 2 9 4 号の開示内容は、参考のために、この明細書に組み込まれる。

5

発明の開示

上述の課題の少なくとも一部を取り扱うため、本発明は、画像データの画像の色調を改変して新たな画像データを生成させる際に、以下の処理を行う。まず、画像データの画素の色を改変するためのパラメータであって、互いに異なる改変内容に対応する複数の改変候補パラメータの中から、ユーザに、たとえば、一つのパラメータを選択させる。そして、選択されたパラメータに応じて、画像の色調を改変する対象である対象画像データから、対象画像データとは少なくとも一部の画素の色が異なる改変画像データを生成する。

15

複数の改変候補パラメータは、カラー画像データの画素の階調値を変換するための N_c 個 (N_c は正の整数) のカラー画像用改変候補パラメータと、モノクロ画像データの画素の階調値を変換するための N_m 個 (N_m は N_c より大きい整数) のモノクロ画像用改変候補パラメータと、を含む。なお、カラー画像用改変候補パラメータと、モノクロ画像用改変候補パラメータとは、互いに一部が重複していてもよい。

20

対象画像データがカラー画像データであるときには、ユーザに、 N_c 個のカラー画像用改変候補パラメータの中から、たとえば一つのパラメータを選択させる。また、対象画像データがモノクロ画像データであるときには、ユーザに、

N m個のモノクロ画像用改変候補パラメータの中から、たとえば一つのパラメータを選択させる。このような態様とすれば、モノクロ画像については、カラー画像の場合よりも多くの選択肢の中から色の改変内容を選択できる。よって、一般ユーザが行う作業を煩雑にすることなく、モノクロ画像の印刷を行う趣味性の高いユーザの要求を満たすことができる。

なお、複数の改変候補パラメータは、階調変換特性を表すパラメータであることが好ましい。たとえば、複数の改変候補パラメータは、所定の階調値系列の階調値を同じ階調値系列の階調値に変換する改変にそれぞれ対応するパラメータとすることができる。所定の階調値系列は、たとえば、互いに明度が異なる複数の色の集合である階調値の系列とすることができる。たとえば、複数の改変候補パラメータは、黒から白までの無彩色を表す0～255の階調値のうちのいずれかの階調値を、同じ無彩色を表す0～255のいずれかの階調値に変換する改変に、それぞれ対応するパラメータとすることができる。この改変は、例えば、無彩色の階調値0～255のうちの1～32の階調値のみを、他の異なる値に変える改変とすることができる。

また、以下のような処理を行うことも好ましい。すなわち、画素の色の改変を実現するための変換曲線であって、入力階調値に対応する出力階調値を与える変換曲線を、選択されたパラメータに応じて準備する。そして、対象画像データがモノクロ画像データであるときには、変換曲線のうち入力階調値が所定の範囲内にある第1の部分を改変せずに第2の部分を改変するための部分調整入力画面をユーザに提供す。一方、対象画像データがカラー画像データであるときには、部分調整入力画面をユーザに提供しない態様とすることもできる。

そして、部分調整入力画面を介したユーザの指示に応じて変換曲線の第2の部分を変更する。その後、変換曲線に基づいて対象画像データの画素の階調値を変更する。このような態様とすれば、ユーザは、モノクロ画像を処理する場合に、カラー画像に比べてより詳細に色の改変内容を指定することができる。

なお、第2の部分は、入力階調値がとりうる値の範囲のうち上から40%までの範囲に含まれる領域に相当する部分とすることが好ましい。また、第2の部分は、入力階調値がとりうる値の範囲のうち下から25%までの範囲に含まれる領域に相当する部分とすることも好ましい。

また、変換曲線の第2の部分を変更する際には、変換曲線の出力階調値の変化が、 $L^*a^*b^*$ 表色系の L^* で表したときにプラスマイナス10の範囲内となるように改変することが好ましい。このような態様とすれば、改変によって画像が不自然なものとなってしまうことを防止できる。

なお、以下のような態様とすることも好ましい。すなわち、対象画像データの画像を印刷する印刷媒体の種類の情報に応じて、変換曲線の出力階調値の改変の許容範囲を決定する。そして、変換曲線の第2の部分を変更する際には、変換曲線の出力階調値の変化の大きさが許容範囲内となるように変換曲線を変更する。このような態様とすれば、暗い色や明るい色を表現しにくい印刷媒体においては、狭い範囲の階調値で画像を表現するように画像の色の改変を行う

ことができる。

また、変換曲線の第2の部分を変更する際には、入力階調値がとりうる値のうちで最も高い値を、出力階調値がとりうる値で最も高い値よりも低い値に変換するように変更することも好ましい。このような変換内容とすれば、画像内の全領域に明度が一定値以下である色が付されることになる。このため、画像の周りの部分に階調値の最大値に相当する色が付されている場合に、画像の外延を明確にすることができる。

- 10 また、変換曲線の第2の部分を変更する際には、入力階調値がとりうる値のうちで最も低い値を、出力階調値がとりうる値で最も低い値よりも高い値に変換するように変更することも好ましい。

- 15 また、対象とする画像データがモノクロ画像データである場合には、以下のような処理を行うことが好ましい。すなわち、対象画像データがモノクロ画像データであるときに、変換曲線に応じてモノクロ画像用変換テーブルを生成する。このモノクロ画像用変換テーブルは、モノクロ画像データを、所定の第1の表色系の階調値で表された画像データに変換するための変換テーブルであって、階調値で表現された無彩色のうち少なくとも一部を明度の異なる色に変更する変換テーブルである。そして、このモノクロ画像用変換テーブルに基づいて、対象画像データを改変画像データに変換する。このような態様とすれば、変換テーブルを改変することによって、変換曲線に応じた画像データの改変を実現することができる。
- 20

なお、変換曲線に応じてモノクロ画像用変換テーブルを生成する際には、あらかじめ用意された基準となるモノクロ画像用変換テーブルを変換曲線に応じて改変して、変換曲線に応じたモノクロ画像用変換テーブルを生成することが好ましい。そして、基準となるモノクロ画像用変換テーブルは、色を $L^*a^*b^*$ 表色系で表したときに、前記変換曲線に応じて改変する前の色の L^* の値が、改変前の色を表す入力階調値の増加に対して線形に増加する部分を含むモノクロ画像用変換テーブルとすることが望ましい。そのようなモノクロ画像用変換テーブルを用いて画像データの変換を行えば、前述の第2の部分の階調値において色の違いが分かりやすくなるように、色の改変を行うことができる。

また、カラー画像データが、各画素の色が第2の表色系の階調値で表されている画像データである場合には、以下のような処理を行うことが好ましい。すなわち、対象画像データがカラー画像データであるときに、変換曲線に応じてカラー画像用変換テーブルを生成する。このカラー画像用変換テーブルは、カラー画像データを、第2の表色系とは異なる第3の表色系の階調値で表された画像データに変換するための変換テーブルであって、第2の表色系の階調値で表された色のうち少なくとも一部を他の色に改変する変換テーブルである。

そして、対象画像データがカラー画像データであるときに、カラー画像用変換テーブルに基づいて、対象画像データを改変画像データに変換する。なお、第3の表色系は、階調値が、互いに異なる M_c 個（ M_c は正の整数）の値を取りうる表色系である。そして、第1の表色系は、階調値が、互いに異なる M_m

個（ M_m は、 M_c よりも大きい整数）の値をとりうる表色系である。このような態様とすれば、モノクロ画像データについては、より微細な階調の違いを再現することができる。

- 5 なお、本発明は、種々の形態で実現することが可能であり、例えば、画像データ生成方法および装置、画像データの色変更の補助方法および装置、印刷制御方法および装置、印刷方法および装置、それらの方法または装置の機能を実現するためのコンピュータプログラム、そのコンピュータプログラムを記録した記録媒体、コンピュータプログラム製品等の形態で実現することができる。

10

以下では、図面を参照して、本願発明の好ましい実施例の詳細が説明され、本願発明の上述の目的およびその他の目的、構成、効果が明らかにされる。

図面の簡単な説明

- 15 図1は、第1実施例の印刷システムのソフトウェアの構成を示すブロック図である；

図2は、プリンタドライバ96の色調設定画面200を示す説明図である；

図3は、1.4～2.4までの各ガンマ値に対応するトーンカーブを示す図である；

- 20 図4は、暗部トーン調整スケール236と、明部トーン調整スケール238を介したトーンカーブの修正の内容を示す説明図である；

図5は、入力階調値が128以上の移行領域におけるトーンカーブを示す図

である；

図 6 は、印刷用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 c の生成方法を示す説明図である；

図 7 は、プリンタドライバ 9 6 の色調設定画面 2 0 2 を示す説明図である；

5 図 8 は、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 1 0 4 b を示す図である；

図 9 は、第 2 実施例の印刷用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 e の生成方法を示す説明図である；

10 図 1 0 は、第 3 実施例の印刷システムのソフトウェアの構成を示すブロック図である；

図 1 1 は、パラメータに対応したコントラスト変換用のトーンカーブを示す図である；そして、

図 1 2 は、画像データにおける最も暗い色の明るさを調整した場合のトーンカーブを示す図である。

15

発明を実施するための最良の形態

A. 第 1 実施例.

A 1. 全体の構成：

20 図 1 は、第 1 実施例の印刷システムのソフトウェアの構成を示すブロック図である。コンピュータ 9 0 では、所定のオペレーティングシステムの下で、アプリケーションプログラム 9 5 が動作している。また、オペレーティングシス

テムには、ビデオドライバ 9 1 やプリンタドライバ 9 6 が組み込まれている。

アプリケーションプログラム 9 5 は、マウス 1 3 0 やキーボード 1 2 0 から
入力されるユーザの指示に応じて、レッド (R)、グリーン (G)、ブルー (B)
5 の 3 色の色成分からなる原画像データ O R G を C D - R 1 4 0 から読み込む。
そして、ユーザの指示に応じて、原画像データ O R G に画像のレタッチなどの
処理を行う。アプリケーションプログラム 9 5 は、処理を行った画像を、ビデ
オドライバ 9 1 を介して C R T ディスプレイ 2 1 に画像を表示する。また、ア
アプリケーションプログラム 9 5 は、ユーザからの印刷指示を受け取ると、プリ
10 ンタドライバ 9 6 に印刷指示を出し、処理を行った画像を初期画像データ P I
D としてプリンタドライバ 9 6 に出力する。初期画像データ P I D は、たとえ
ば、各画素の色が、それぞれ 0 ~ 2 5 5 の値をとるレッド、グリーン、ブルー
の 3 個の階調値の組み合わせで表された画像データである。

15 また、アプリケーションプログラム 9 5 において、原画像データ O R G を、
明度を表す 0 ~ 2 5 5 の階調値で表された白黒画像の初期画像データ P I D に
変換することもある。さらに、原画像データ O R G 自体が、そのような白黒画
像であることもある。そのような場合には、初期画像データ P I D も明度を表
す 0 ~ 2 5 5 の階調値で表された白黒画像のデータとなる。

20

プリンタドライバ 9 6 は、初期画像データ P I D をアプリケーションプログラ
ム 9 5 から受け取る。プリンタドライバ 9 6 は、これをプリンタ 2 2 が処理
可能な印刷画像データ F N L (ここではシアン、マゼンダ、イエロー、第 1 ~

第3の無彩色インクの6色についての多値化された信号)に変換する。なお、第1～第3の無彩色インクは、その順に明度が高い無彩色インクである。

図1に示した例では、プリンタドライバ96の内部には、解像度変換モジュール97と、色変換モジュール98と、候補ガンマ値格納部102と、色変換テーブル104と、ハーフトーンモジュール99と、並べ替えモジュール100とが備えられている。

解像度変換モジュール97は、初期画像データPIDの解像度をプリンタ22で印刷を行う際の解像度に変換する。色変換モジュール98は、カラー画像の印刷においては、色変換テーブル104の印刷用3次元ルックアップテーブル104aを参照しつつ、RGBの階調値で各画素の色が現されている画像データMID1を、プリンタ22が使用するシアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、第1～第3の無彩色インク(K1～K3)の階調値で各画素の色が表された画像データMID2に変換する。また、色変換モジュール98は、白黒画像の印刷においては、色変換テーブル104の印刷用1次元ルックアップテーブル104cを参照しつつ、白黒の画像データMID1を、シアン(C)、マゼンダ(M)、イエロー(Y)、第1～第3の無彩色インク(K1～K3)の階調値で各画素の色が表された画像データMID2に変換する。

20

なお、初期画像データPIDが白黒画像である場合に、これに所定の色調を付して印刷する場合がある。白黒画像に所定の色調を付して印刷する場合については、第2実施例で説明する。

ハーフトーンモジュール 99 は、各画素の各色の濃度が各色の階調値で表された画像データ M I D 2 にハーフトーン処理を行うことによって、各色の濃度が各画素におけるドットの有無で表される画像データ M I D 3 (「印刷データ」
5 または「ドットデータ」とも呼ぶ) に変換する。

こうして生成された画像データ M I D 3 は、並べ替えモジュール 100 によりプリンタ 22 に転送すべきデータ順に並べ替えられて、最終的な印刷画像データ F N L として出力される。

10

プリンタ 22 は、紙送りモータによって用紙 P を搬送する機構と、キャリッジモータによってキャリッジ 31 を用紙 P の搬送方向 S S と垂直な方向 M S に往復動させる機構と、キャリッジ 31 に搭載されインクの吐出およびドット形成を行う印刷ヘッド 28 と、各種の設定データを格納している P - R O M 42
15 と、これらの紙送りモータ、キャリッジモータ、印刷ヘッド 28、P - R O M 42 および操作パネル 32 を制御する C P U 41 とから構成されている。プリンタ 22 は、印刷画像データ F N L を受け取って、印刷画像データ F N L に応じてシアン (C)、マゼンダ (M)、イエロー (Y)、第 1 ~ 第 3 の無彩色インク (K 1 ~ K 3) で印刷媒体上にドットを形成し、印刷を実行する。

20

なお、本明細書においては、「印刷装置」とは、狭義にはプリンタ 22 のみをさす、が、広義にはコンピュータ 90 とプリンタ 22 とを含む印刷システム全体

を表す。

A 2. 白黒画像の階調値変換：

まず、初期画像データ P I D が、各画素の色が明度を表す 0 ～ 2 5 5 の階調
5 値で表されている白黒画像のデータである場合の印刷について説明する。こ
こでは、初期画像データ P I D の白黒画像に対し、まず濃淡の調整を行い、その
後に印刷を実行する。なお、本明細書において「色」とは、有彩色だけではなく無彩色も含む。互いに濃度の異なるグレーは、互いに「異なる色」である。

10 図 2 は、プリンタドライバ 9 6 の色調設定画面 2 0 0 を示す説明図である。
アプリケーションプログラム 9 5 から印刷指示が出されると、C R T ディスプ
レイ 2 1 にプリンタドライバ 9 6 のユーザインターフェイス画面が表示される。
このプリンタドライバ 9 6 のユーザインターフェイス画面において、ユーザが
モノクロ印刷のタブ（図 2 の左上参照）を選択すると、C R T 2 1 の画面上に、
15 図 2 に示す色調設定画面 2 0 0 が表示される。

色調設定画面 2 0 0 は、ガンマ補正を行う場合にガンマ値を指定するガンマ
値指定部 2 6 0 と、白黒画像に付す色調を指定するためのカラーサークル 2 1
0 と、白黒画像に付す色調の設定をあらかじめ用意されたものの中から選択す
20 るためのカラートーン選択部 2 5 0 と、色見本画像を表示するための見本画像
表示領域 2 2 0 と、を有する。

5 なお、第１実施例においては、白黒画像に色調を付さないで、そのまま白黒画像として印刷する場合について説明する。このため、カラーサークル２１０とカラートーン選択部２５０は操作されないものとする。よって、これらの説明は省略する。白黒画像に色調を付して印刷する場合については、第２実施例

10 色調設定画面２００は、さらに、画像の明るさを規定する明度パラメータを指定するための明度スケール２３２と、画像のコントラストを規定するコントラストパラメータを指定するためのコントラストスケール２３４と、階調値０～３２の比較的暗い画素の濃淡を調整するための暗部トーン調整スケール２３
15 ６と、階調値１９２～２５５の比較的明るい画素の濃淡を調整するための明部トーン調整スケール２３８と、を有する。色調設定画面２００は、さらに、画像データにおける最も明るい色の明るさを調整するためのハイライトポイント・チェックボックス２４０を有する。

15

20 色調設定画面２００は、さらに、上述のガンマ値指定部２６０、各スケール２３２～２３８などを通じて設定された色調に従って、初期画像データＰＩＤに対して画像変換を行った場合の色見本画像を見本画像表示領域２２０に表示させるためのプレビューボタン２７０を有する。そして、印刷処理を中止するためのキャンセルボタン２８０と、設定されたパラメータを確定し、それらのパラメータに沿って画像変換を行って印刷を実行させるためのプリントボタン２９０と、を有する。

ユーザは、マウス 130 を介してカーソル CS を操作して、色調設定画面 200 内のガンマ値指定部 260 においてガンマ値を指定することができる。白黒画像の印刷用としては、1.4～2.4 まで 0.2 きざみの 6 個のガンマ値の候補が、候補ガンマ値格納部 102 内に予め用意されている。ユーザがガンマ値指定部 260 をクリックすると、図 2 に示すように、それらのガンマ値の候補が色調設定画面 200 に提示される。ユーザは、マウス 130 を介してそれらのうちの一つを指定する。なお、ユーザがガンマ値指定部 260 に何も指定しなかった場合には、ガンマ値はデフォルト値の 1.8 とされる。

図 3 は、1.4～2.4 までの各ガンマ値に対応するトーンカーブを示す図である。図 3 において、横軸は入力階調値であり、縦軸は出力階調値である。1.4～2.4 までの 6 個のガンマ値は、それぞれトーンカーブ G1～G6 に対応する。なお、ガンマ値 1.8 に対応するトーンカーブ G3 は直線である。すなわち、ここでは、入力画像データのガンマ値は 1.8 であると想定されている。よって、ユーザが指定したガンマ値が 1.8 である場合は階調値は変更されない。0～255 までの各入力階調値は、これらのトーンカーブにしたがって、対応する出力階調値に変換される。ユーザは、ガンマ値指定部 260 においてガンマ値を選択することにより、実質的に、階調値の変換の仕方を選択していることになる。

また、ユーザは、明度スケール 232 やコントラストスケール 234 を操作することで、階調値の変換の仕方を規定するトーンカーブの全体の形状を決定することができる。たとえば、明度スケール 232 を右に操作すると、トーンカーブは、両端を固定したまま、すなわち入力階調値 0 と 255 の出力階調値

を固定したまま、中央に近づくに従って上に盛り上がる。明度スケール 2 3 2 を右に操作すると、トーンカーブは、逆に、中央に近づくに従って下に垂れ下がる。コントラストスケール 2 3 4 を右に操作すると、トーンカーブは、入力階調値 0 と 2 5 5 の出力階調値を固定したまま、入力階調値が 1 2 8 より上の領域では、上に盛り上がり、入力階調値が 1 2 8 より下の領域では、下に垂れ下がる。コントラストスケール 2 3 4 を左に操作した場合は、その逆である。

なお、ガンマ値指定部 2 6 0、明度スケール 2 3 2、コントラストスケール 2 3 4 のうちの二つ以上が操作される場合もある。そのような場合には、それらの操作が重ね合わされて、トーンカーブの全体形状が決定される。

図 4 は、暗部トーン調整スケール 2 3 6 と、明部トーン調整スケール 2 3 8 を介したトーンカーブの修正の内容を示す説明図である。図 4 (a) は、ガンマ値指定部 2 6 0、明度スケール 2 3 2、コントラストスケール 2 3 4 を介して指定されたトーンカーブ G d の全体を示している。図 4 (b) は、図 4 (a) において示したトーンカーブ G d のうち、入力階調値が 0 ~ 3 2 の暗部領域 A s にある部分 G s を拡大して示している。図 4 (b) に示した領域 4 1 2 に対応する領域を図 4 (a) において破線で示している。

ユーザは、暗部トーン調整スケール 2 3 6 (図 2 参照) を操作することで、階調値 0 ~ 3 2 の暗部領域 A s の部分トーンカーブ G s の形状を決定することができる。暗部トーン調整スケール 2 3 6 を右に操作すると、部分トーンカーブ G s は、図 4 (b) において曲線 G s r 1 として示すように、上に盛り上が

る。逆に、暗部トーン調整スケール 2 3 6 左に操作すると、部分トーンカーブ G_s は、図 4 (b) において曲線 G_{sr2} として示すように、下に垂れ下がる。いずれの場合も、変形は、暗部領域 A_s の両端の出力階調値、すなわち入力階調値が 0 と 3 2 のときの出力階調値を変えない状態を保ちながら行われる。暗部領域 A_s の部分トーンカーブ G_s の曲線は 2 次曲線とすることができる。

図 4 (c) は、図 4 (a) において示したトーンカーブ G_d のうち、入力階調値が 1 9 2 ~ 2 5 5 の明部領域 A_h にある部分 G_h を拡大して示している。図 4 (c) に示した領域 4 1 4 に対応する領域を図 4 (a) において破線で示している。

ユーザは、明部トーン調整スケール 2 3 8 を操作することで、階調値 1 9 2 ~ 2 5 5 の明部領域 A_h の部分トーンカーブ G_h の形状を決定することができる。明部トーン調整スケール 2 3 8 を右に操作すると、部分トーンカーブ G_h は、図 4 (c) において曲線 G_{hr1} として示すように、上に盛り上がる。逆に、明部トーン調整スケール 2 3 8 左に操作すると、部分トーンカーブ G_h は、図 4 (c) において曲線 G_{hr2} として示すように、下に垂れ下がる。いずれの場合も、変形は、明部領域 A_h の両端の出力階調値、すなわち入力階調値が 1 9 2 と 2 5 5 のときの出力階調値を変えない状態を保ちながら行われる。明部領域 A_h の部分トーンカーブ G_h の曲線は 2 次曲線とすることができる。

これら、暗部領域 A_s と明部領域 A_h のトーンカーブの変形は、最も出力階調値が変化する点の明度の変化がプラスマイナス 1 0 の範囲内に収めるように、

変更量 R_s , R_h を設定して行われる。なお、ここでいう明度とは、 $L^*a^*b^*$ 表色系の L^* の値である。

モノクロ画像においては、カラー画像に比べて明るい部分や暗い部分における階調の再現特性が重要である。上記のように、暗部領域 A_s と明部領域 A_h のトーンカーブを調整することで、そのトーンカーブにしたがって、明るい部分や暗い部分における階調の微調整ができる。

図5は、入力階調値が128以上の領域におけるトーンカーブを示す図である。ユーザは、ハイライトポイント・チェックボックス240（図2参照）をチェックすることで、トーンカーブにおいて入力階調値が255であるときの出力階調値を255ではなく240とすることができる。ハイライトポイント・チェックボックス240がチェックされた場合は、トーンカーブは、入力階調値が160以上の移行領域 A_t において、なだらかに（255, 240）の点に向かうように変形される。

図5において、ハイライトポイント・チェックボックス240がチェックされたことによって、改変されたトーンカーブをトーンカーブ L_{21} とする。ハイライトポイント・チェックボックス240がチェックされる前のトーンカーブをトーンカーブ L_{22} とする。（160, V_t ）と（255, 240）を通る直線を直線 L_{23} とする。ここで、 V_t は、入力階調値が160のときトーンカーブ L_{22} によって決まる出力階調値である。改変されたトーンカーブ L_{21} の形状は、たとえば、（160, V_t ）と（255, 240）と（208, V

s) を通る 2 次曲線とすることができる。ここで、 V_s は、入力階調値が 208 のとき、トーンカーブ L 2 2 で決定される出力階調値と、直線 L 2 3 で決定される出力階調値と、の中間の階調値である。

- 5 このように、画像データ中で最も明るい階調値についても、出力階調値を最大値としないようにすることで、以下のような効果が得られる。すなわち、画像データ中で最も明るい色が指定されている領域についても、印刷の際にインクが記録されるようにすることができる。その結果、最も明るい色が指定されている領域にインクが記録されず、インクが記録されている他の部分との間で
- 10 印刷物の表面の質感が違ってしまふ、という問題が生じなくなる。

また、印刷媒体上で画像のすべての領域についてインクが記録されるため、最も明るい色が指定されている領域が画像の端にある場合にも、どこまでが画像であり、どこからが画像でないかの区別が付きやすくなる。

15

- 以上のようにして、ユーザは、色調設定画面 200 の各要素を操作して、白黒画像の濃淡を改変するためのトーンカーブ G d を決定する。色調設定画面 200 を CRT 21 の画面上に示し、ユーザからの指示を受け入れる機能を果たす機能部を、図 1 において、ユーザインターフェイス部 98 a として示す。また、ユーザによって指定されたガンマ値に応じてトーンカーブを準備する機能を果たす機能部を、変換曲線準備部 98 b として示す。そして、暗部トーン調整スケール 236、明部トーン調整スケール 238 と、ハイライトポイント・
- 20 チェックボックス 240 を介して入力されたユーザの指示に応じてトーンカー

ブを部分的に改変する機能を果たす機能部を、図 1 において、変換曲線改変部 98c として示す。

A 3. 印刷用 1 次元ルックアップテーブルの生成：

- 5 色変換モジュール 98 の機能部である印刷用変換テーブル生成部 98d (図 1 参照) は、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 104d に基づいて、印刷用 1 次元ルックアップテーブル 104c を生成する。印刷用 1 次元ルックアップテーブル 104d は、白黒画像をデフォルトの色調で印刷する際に使用されるルックアップテーブルである。一方、印刷用 1 次元ルックアップテーブル
- 10 104c は、色調設定画面 200 を介して決定されたトーンカーブ Gd に応じて白黒画像の濃淡の改変を行って印刷する際に使用されるルックアップテーブルである。

- 図 6 は、印刷用 1 次元ルックアップテーブル 104c の生成方法を示す説明図である。図 6 の上段に示すグラフの横軸は明度を表す階調値である。横軸上で右に行くほどグレーの明るさは明るくなり、左に行くほど暗くなる。初期画像データ PID (図 1 参照) が、明度を表す 0 ~ 255 の階調値で表されている白黒画像のデータであることから、横軸の入力階調値は 0 ~ 255 である。

- 20 一方、図 6 の上段に示すグラフの縦軸は、シアン、マゼンダ、イエロー、第 1 ~ 第 3 の無彩色インクの階調値である。横軸の入力階調値が 0 ~ 255 であるのに対して、縦軸の出力階調値は、0 ~ 65535 である。印刷用基準 1 次

元ルックアップテーブル104dにおけるシアン、マゼンダ、イエロー、第1
～第3の無彩色インクの階調値を、それぞれ破線のグラフC, M, Y, K1,
K2, K3で示す。そして、印刷用1次元ルックアップテーブル104cにお
けるシアン、マゼンダ、イエロー、第1～第3の無彩色インクの階調値を、そ
5 れぞれ実線のグラフCr, Mr, Yr, K1r, K2r, K3rで示す。

印刷用変換テーブル生成部98dは、色調設定画面200を通じて設定され
たトーンカーブに応じて、印刷用基準1次元ルックアップテーブル104dの
第1～第3の無彩色インク(K1～K3)、およびシアン(C)、マゼンダ(M)、
10 イエロー(Y)のインクのグラフを、それぞれ変形させる。そうすることによ
って、印刷用変換テーブル生成部98dは、印刷用1次元ルックアップテーブ
ル104cの第1～第3の無彩色インク(K1～K3)とシアン(C)、マゼン
ダ(M)、イエロー(Y)のインクのグラフを生成する。

15 図6の下段に示すグラフの横軸はグレーの入力階調値である。上段のグラフ
と同様、横軸上で右に行くほどグレーの明るさは明るくなり、左に行くほど暗
くなる。図6の下段に示すグラフの縦軸は、決定されたトーンカーブGdに従
った変換による各階調値の増分 ΔV である。この変換は、矢印a1～a3で示
すように、0と255をのぞき、各入力階調値をより大きな値の出力階調値に
20 変換している。よって、生成すべき印刷用1次元ルックアップテーブル104
cは、白黒画像の同じ明度の階調値に対してより明るい色を出力するように、
印刷用基準1次元ルックアップテーブル104dを改変して生成される。

たとえば、トーンカーブ G d に従った変換によって、入力階調値 1 2 8 が出力階調値 1 3 6 に変換される場合を考える。この場合、印刷用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 c は、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 d において階調値 1 3 6 に対して与えられていた出力階調値を、階調値 1 2 8 に対して与えるように変形される。この例では、印刷用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 c は、図 6 の中段において矢印 b 1 ~ b 3 で示すように、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 d に比べて、左方向にひずんだ形状となる。ただし、入力階調値 0 と 2 5 5 における出力階調値は変わらない。

図 1 の色変換モジュール 9 8 は、このようにして生成した印刷用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 d に従って、白黒の画像データ M I D 1 を、第 1 ~ 第 3 の無彩色インク (K 1 ~ K 3)、とシアン (C)、マゼンダ (M)、イエロー (Y) のインクの階調値で各画素の色が表された画像データ M I D 2 に変換する。このような機能を果たす機能部を画像変換部 9 8 e として示す。

一般に、白黒画像を印刷するのは、従来からの銀塩写真愛好家など、微妙な画質の調整を希望するユーザである。第 1 実施例は、以上で説明したような構成を有することにより、そのようなユーザに対して、白黒画像の画質の微妙な調整を可能とする。

A 4. カラー画像の色変換 :

図 7 は、プリンタドライバ 9 6 の色調設定画面 2 0 2 を示す説明図である。

初期画像データ P I D が、各画素の色がレッド、グリーン、ブルーの 0 ~ 2 5 5 の階調値で表されているカラー画像のデータである場合の印刷について説明する。初期画像データ P I D が、カラー画像のデータである場合にも、印刷の際には、プリンタドライバ 9 6 の色調設定画面が表示される。ただし、そのカラー画像用色調設定画面 2 0 2 には、暗部トーン調整スケール 2 3 6 と明部トーン調整スケール 2 3 8 とハイライトポイント・チェックボックス 2 4 0 とは設けられていない（図 2 参照）。また、画像に付す色調を指定するためのカラーサークル 2 1 0 と、画像に付す色調の設定をあらかじめ用意されたものの中から選択するためのカラートーン選択部 2 5 0 も、白黒画像のみに必要なものであるため、カラー画像用色調設定画面 2 0 2 には、設けられていない。他の点は、図 2 に示す、モノクロ画像用の色調設定画面 2 0 0 と同じである。

カラー画像用色調設定画面 2 0 2 においても、白黒画像用の色調設定画面 2 0 0 と同様に、ユーザは、ガンマ値指定部、明度スケール、コントラストスケールを介してトーンカーブの形状を指定することができる（図 2 参照）。ただし、カラー画像用色調設定画面 2 0 2 においては、ユーザは、ガンマ値指定部を介して 1 . 5、1 . 8、2 . 2 の 3 個の候補値の中からガンマ値を選択することができる。これらは、候補ガンマ値格納部 1 0 2 （図 1 参照）内に格納されている。一方、暗部トーン調整スケール 2 3 6 と明部トーン調整スケール 2 3 8 は表示されていないため、暗部領域および明部領域の画素の色調を調整することはできない（図 2 および図 4 参照）。

一般的なユーザは、減多にモノクロ印刷は行わず、デジタルスチルカメラで生成したり、ホームページ上から取得したカラー画像をそのままカラー画像と

して印刷する。また、一般的なユーザは、煩雑な手続きは好まない。よって、上記のように、カラー画像用色調設定画面 202 に暗部トーン調整スケール 236 と明部トーン調整スケール 238 を表示せず、暗部領域および明部領域の色調の調整の必要性の有無を判断させないことで、ユーザに煩雑さを感じさせず簡潔な手続きでカラー画像の印刷を行わせることができる。

一方、白黒画像を印刷するのは、従来からの銀塩写真愛好家など、微妙な画質の調整を希望するユーザである。第 1 実施例は、モノクロ画像用の色調設定画面 200 において、暗部トーン調整スケール 236 と明部トーン調整スケール 238 を表示し、暗部領域および明部領域の色調の調整を可能としている。そうすることで、第 1 実施例のプリンタドライバは、白黒画像を印刷するユーザが白黒画像の画質の微妙な調整をすることを可能としている。

印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104b (図 1 参照) は、ユーザが画像データの画像をデフォルトの色調で印刷を行う場合に使用されるルックアップテーブルである。これに対して、印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104a は、ユーザが画像データの画像の色調を変化させて印刷を行う場合に使用されるルックアップテーブルである。印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104a は、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104b から生成される。

図 8 は、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104b を示す図である。印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104b は、レッド、グ

リーン、ブルーの3個の階調値の組み合わせ (V_r , V_g , V_b) と、シアン、マゼンダ、イエロー、第1～第3の無彩色インクの階調値の組み合わせ (V_c , V_m , V_y , V_k , V_{lk} , V_{llk}) とを、対応づけて格納しているテーブルである。

5

初期画像データ P I D が、カラー画像データである場合、そのカラー画像データは、各画素の色が、それぞれ 0 ～ 255 の値をとるレッド、グリーン、ブルーの3個の階調値の組み合わせで表された画像データである。よって、印刷用基準印刷用3次元ルックアップテーブル 104 b のレッド、グリーン、ブルーの3個の入力階調値 V_r , V_g , V_b も、それぞれ 0 ～ 255 の値をとる。また、印刷用基準印刷用3次元ルックアップテーブル 104 b においては、出力階調値であるシアン、マゼンダ、イエロー、第1～第3の無彩色インクの階調値 V_c , V_m , V_y , V_k , V_{lk} , V_{llk} も 0 ～ 255 の値をとる。

10

15

ガンマ値指定部、明度スケール、コントラストスケールを介してトーンカーブの形状が決定されると、色変換モジュール 98 の印刷用変換テーブル生成部 98 d (図1参照) は、印刷用基準1次元ルックアップテーブル 104 d から印刷用1次元ルックアップテーブル 104 c を生成したときと同様に、印刷用3次元ルックアップテーブル 104 a を生成する。すなわち、トーンカーブの形状に基づいて印刷用基準印刷用3次元ルックアップテーブル 104 b を改変して、印刷用3次元ルックアップテーブル 104 a を生成する。ただし、その際の変換作業は、レッド、グリーン、ブルーの各階調値について行う必要がある。

20

画像変換部 98 e は、このようにして生成した印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 a に従って、カラーの画像データ MID 1 を、シアン、マゼンダ、イエロー、第 1 ～ 第 3 の無彩色インクの 6 色の階調値で各画素の色が表された
5 画像データ MID 2 に変換する。

なお、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 104 d および印刷用 1 次元ルックアップテーブル 104 c の出力階調値が、0 ～ 65535 の値をとりうるのに対して、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 b および
10 印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 a は、より少ない 0 ～ 255 の階調値しか取りえない。しかし、カラー画像においては、明度に加えて彩度、色相も表現される。よって、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 b または印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 a で生成したカラー画像の印刷結果において、印刷対象の識別のしやすさが白黒画像の印刷結果に比べて
15 大きく劣るわけではない。

一方、第 1 実施例は、白黒画像を印刷する場合には、カラー画像を印刷する場合に比べて多数の階調で表現された画像データ MID 2 を出力する。そして、その後のハーフトーン処理も、その多数の階調に基づいて実行される。このため、第 1 実施例によれば、白黒画像の印刷において、微妙な濃淡を表現することが
20 ができる。よって、白黒印刷の印刷を好む従来からの銀塩写真愛好家の期待に応えることができる。また、彩度、色相を有しない白黒画像において、暗い部分や明るい部分にある印刷対象が識別しやすいように、印刷を行うことがで

きる。

このように、第1実施例の印刷システムは、カラー画像を印刷するユーザと、白黒画像を印刷するユーザとのそれぞれの嗜好に応じて、適切な印刷環境を提供することができる。また、ルックアップテーブルを改変することで画像データの色調の改変を実現しているため、大きな画像データを処理する場合にも、迅速な処理ができる。すなわち、画像データの大きさによって、必要とする処理時間が大幅に拡大することがない。

10 B. 第2実施例

白黒画像に、セピア調などの所定の色調を付して印刷を実行する場合がある。第2実施例ではそのような場合について説明する。第2実施例においては、1次元ルックアップテーブルおよびその生成方法が第1実施例とは異なっている。他の点は第1実施例と同じである。

15

色調設定画面200のカラーサークル210（図2参照）は、 $L^*a^*b^*$ 表色系において、 L^* が55である a^*b^* 平面であり、かつ、 $a^*=b^*=0$ を中心点Oとする半径20の円に含まれる部分である。すなわち、カラーサークル210は、グレーの点を中心に有し、カラーサークル210内の位置に応じて a^* 、 b^* の少なくともいずれかが段階的に異なっている円盤である。ユーザは、マウス130を介してカラーサークル210内の一点を指定することで、白黒画像に付す色調を指定することができる。

また、ユーザは、カラートーン選択部 2 5 0（図 2 参照）を操作して、画像に付す色調を規定するパラメータの設定をあらかじめ用意されたものの中から選択することもできる。あらかじめ用意するパラメータの設定としては、寒色
5 気味の色調であるクール調、暖色気味の色調であるウォーム調、写真が褪色した色合いであるセピア調などとすることができる。

図 9 は、第 2 実施例において、カラーサークル 2 1 0 により指定されたパラメータを使って色調を変化させたトーン調整用 1 次元ルックアップテーブル 1
10 0 4 e および印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 d を示す説明図である。図 9 においては、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 d における各インク色の階調値を破線のグラフ C, M, Y, K 1, K 2, K 3 で示す。そして、トーン調整用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 e における各インクの階調値を、実線のグラフ C r, M r, Y r, K 1 r, K 2 r, K 3 r で示す。
15 なお、トーン調整用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 e の生成の際には、第 1 ～第 3 の無彩色インクのグラフは改変されない。よって、K 1 と K 1 r, K 2 と K 2 r, K 3 と K 3 r のグラフは重なっている。

ユーザによって、カラーサークル 2 1 0 またはカラートーン選択部 2 5 0 を
20 介して白黒画像に付する色調が指定されると、まず、トーン調整用 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 e が生成される。具体的には、ユーザが指定した色調に応じてシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロ（Y）の出力階調値の情報が生成され、印刷用基準 1 次元ルックアップテーブル 1 0 4 f のシアン（C）、マゼ

ンタ（M）、イエロ（Y）の出力階調値に修正が加えられて、トーン調整用１次元ルックアップテーブル１０４eが生成される。たとえば、セピア調の色調が付与される場合には、図９に示すように、シアンの階調値が全体に下げられ、マゼンタとイエローの階調値が全体に上げられる。これら各色の出力階調値は、

5 第１実施例の印刷用１次元ルックアップテーブル１０４cと同様、０～６５５３５である。

その後、色調設定画面２００を介して決定されたトーンカーブGd（図４（a）参照）に基づいて、上記のトーン調整用１次元ルックアップテーブル１０４e

10 がさらに改変されて、印刷用１次元ルックアップテーブル１０４cが生成される（図６参照）。改変の仕方は第１実施例において、印刷用基準１次元ルックアップテーブル１０４dから印刷用１次元ルックアップテーブル１０４cを生成した際の方法と同じである。

15 このような態様とすれば、寒色気味の色調であるクール調、暖色気味の色調であるウォーム調、写真が褪色した色合いであるセピア調その他の、所定の色調が付された白黒画像を印刷する際にも、微妙な色の調整を行うことができる。

なお、本明細書において、「モノクロ画像データ」は、画像を構成する各画素

20 について明度のみの情報を有する画像データであってもよいし、クール調、ウォーム調、セピア調などの所定の色調を有する画像であってもよい。すなわち、モノクロ画像データは、互いに明度が異なる複数の色の集合である一列の階調値で、画素の色が表現された画像データであればよい。第１および第２実施

例におけるモノクロ画像用の印刷処理は、初期画像データ P I D から、各画素について明度のみの情報を有する白黒画像のデータ M I D 2 を生成して印刷する場合と、各画素の色が上記のような一列の階調値で表されているデータ M I D 2 を生成して印刷する場合と、のいずれにも対応するものである。

5

C. 第 3 実施例

図 10 は、第 3 実施例の印刷システムのソフトウェアの構成を示すブロック図である。第 1 実施例においては、プリンタドライバ 9 6 がトーンカーブに応じて印刷用ルックアップテーブル 1 0 4 c , 1 0 4 a を生成することで、画像
10 データの色の調整を実現していた。しかし、第 3 実施例では、アプリケーション 9 5 t が、原画像データ O R G の画素の階調値を改変することで画像データの色を改変する。第 3 実施例においては、プリンタドライバ 9 6 t は、色変換
15 テーブル 1 0 4 として、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 1 0 4 b のみを備える。そして、プリンタドライバ 9 6 t は、アプリケーション 9 5 t から受け取った初期画像データ P I D をそのままの色調で印刷画像データ F N L に変換する。第 3 実施例の他の点は、第 1 実施例と同じである。

第 3 実施例においては、アプリケーション 9 5 t は、ユーザインターフェイス部 9 5 a、変換曲線準備部 9 5 b、変換曲線改変部 9 5 c、画像変換部 9 5
20 f を備える。ユーザインターフェイス部 9 5 a、変換曲線準備部 9 5 b、変換曲線改変部 9 5 c は、それぞれ第 1 実施例におけるユーザインターフェイス部 9 8 a、変換曲線準備部 9 8 b、変換曲線改変部 9 8 c と同様の機能を果たす。

画像変換部 95 f は、ユーザによって決定されたトーンカーブ G d に応じて原画像データ O R G の各画素の階調値を変換する。そして、アプリケーション 95 t は、変換後の画像データを初期画像データ P I D としてプリンタドライバ 96 t に出力する。プリンタドライバ 96 t は、アプリケーション 95 t から受け取った初期画像データ P I D を、印刷用基準印刷用 3 次元ルックアップテーブル 104 b を参照しつつ、そのままの色調で印刷画像データ F N L に変換する。

第 3 実施例のような態様とすれば、印刷の際にルックアップテーブルを生成する必要がない。このため、ユーザがアプリケーション 95 t に印刷を指示してから、短時間で印刷を開始することができる。

D. 変形例.

なお、この発明は上記の実施例や実施形態に限られるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々の態様において実施することが可能であり、例えば次のような変形も可能である。

D 1. 変形例 1

図 11 は、パラメータに対応したコントラスト変換用のトーンカーブを示す図である。第 1 実施例では、白黒画像の印刷においては、カラー画像の印刷よりも多数のガンマ値の候補が用意されており、ガンマ値に応じた多数のトーンカーブが選択可能であった。しかし、予め用意されるトーンカーブは、ガンマ

変換を表すものだけではなく、他の変換を表すトーンカーブであってもよい。
たとえば、図 1 1 に示すように、コントラスト変換用のトーンカーブ C 1 ~ C
6 を用意し、それぞれのカーブにパラメータを対応づけてもよい。そして、白
黒画像の印刷に際しては、カラー画像の印刷の場合よりも多数のトーンカーブ
5 (パラメータ) を選択できるようにしてもよい。なお、図 1 1 において、ト
ーンカーブ C 0, C 4 ~ C 6 は直線である。そして、トーンカーブ C 0 は、コン
トラストを改変しない場合のトーンカーブである。

なお、各パラメータおよびトーンカーブは、白黒画像にも適用でき、カラー
10 画像にも適用できるものがある。また、トーンカーブが表す階調値変
換は、互いに異なる明度を有する階調値からなる所定の階調値系列の階調値を、
同じ階調値系列の同一の階調値、または異なる階調値に変換する階調値変換で
あることが好ましい。たとえば、階調値変換は、セピア色調のモノクロの階調
値 0 ~ 2 5 5 のうちのいずれかの階調値を、同じセピア調のモノクロの階調値
15 の他の階調値に変換するものとすることができる。たとえば、モノクロの階調
値 0 ~ 2 5 5 のうち 2 0 8 ~ 2 5 5 の階調値のみを改変する階調値変換とする
ことができる。寒色調、暖色調、無彩色 (グレー) のモノクロの階調値につい
ても同様である。また、各パラメータは、数字に限らず、アルファベットでも
よいし他の文字や記号であってもよい。すなわち、互いに異なる色変換に対応
20 する符号であれば、どのようなものでもよい。

D 2 . 変形例 2

第 1 実施例においては、色調設定画面 2 0 0 に、画像データにおける最も明

るい色の明るさを調整するためのハイライトポイント・チェックボックス 240 が設けられていた。しかし、画像データにおける最も明るい色の明るさを調整するための手段としては、明度スケール 232 等と同様のスケールとしてもよい。たとえば、右端から左に向かって操作するスケールを色調設定画面に表示し、左に行くほど画像データにおける最も明るい色の明るさが暗くなること
5 としてもよい。

なお、第 1 実施例においては、画像データにおける最も明るい色の階調値は、ハイライトポイント・チェックボックス 240 にチェックが入ることによって
10 240 となったが、最も明るい色の階調値は他の値であってもよい。すなわち、調整によって設定される最も明るい色の階調値は、出力階調値の最大値よりも小さい任意の値とすることができる。

D 3. 変形例 3

15 図 12 は、画像データにおける最も暗い色の明るさを調整した場合のトーンカーブを示す図である。色調設定画面には、画像データにおける最も暗い色の明るさを調整するためのシャドウポイント・チェックボックスを設けてもよい。このチェックボックスにチェックを入れることで、たとえば、画像データにおける最も暗い色の階調値が 0 ではなく、より大きな値、たとえば 80 や 192
20 となるようにすることもできる。このような態様とすれば、全体に明るい画像を得ることができ、ポスターの背景などに使用する際に好適である。

なお、画像データにおける最も暗い色の明るさを調整するための手段が、チェックボックスではなく、スケールであってもよいことは、最も明るい色の明るさを調整するための手段と同様である。また、最も暗い色の階調値は、出力階調値の最小値よりも大きい任意の値とすることができる。

5

また、画像データにおいて最も暗い色の階調値は、印刷媒体の種類に応じて決定してもよい。たとえば、表面の凹凸の少ない光沢紙の場合には、比較的低く設定し、表面の凹凸の多いマット紙の場合には、それよりも高く設定することも好ましい。マット紙の場合には、光沢紙に比べて階調値 0 近辺の非常に暗い色を再現しにくいためである。同様に、画像データにおいて最も明るい色の階調値を、印刷媒体の種類に応じて決定してもよい。なお、印刷媒体の種類は、プリンタドライバ 9 6 のユーザインターフェイス画面を通じてユーザに入力させることとしてもよいし、プリンタが自動的に認識して、印刷媒体の種類情報をプリンタドライバ 9 6 に送信することとしてもよい。

15

なお、「印刷媒体の種類」とは、インクを記録していない領域と、同じインクで塗りつぶした領域と、の明度に応じて決定される種類とすることができる。その場合、2 種類の印刷媒体について、インクを記録していない領域と、同じインクで塗りつぶした領域と、をそれぞれ側色計で計測し、 $L^*a^*b^*$ 表色系の L^* が、いずれかについて 10 % 以上異なる場合には、「種類が異なる印刷媒体」であるとする。

20

第1実施例においては、印刷用基準1次元ルックアップテーブル104d(図1参照)は、階調値が小さい暗部領域A_sにおいて、色をL*a*b*表色系で表したときに、色のL*の値が、色を表す入力階調値の増加に対して線形に増加する部分を含む階調特性を有することができる。そのような階調特性とすれば、暗部領域A_sにおいて、画像に記録されている対象が識別しやすいようになる。また、そのような特性を暗部領域におけるデフォルトの階調特性とし、ユーザが、それを暗部トーン調整スケール236で改変することができるようにすることも好ましい。

- 10 また、ユーザが指定する部分トーンカーブは、2次曲線であった。しかし、ユーザが指定する部分トーンカーブは、2次曲線に限らず、他の曲線とすることもできる。たとえば、3次曲線であってもよいし、4次曲線、スプライン曲線、ベジエ曲線などでもよい。ただし、ユーザが指定する部分トーンカーブとして、3次曲線、4次曲線などを使用する場合は、曲線が通る点として複数の
15 点を指定させることが好ましい。

- また、部分トーンカーブG_sの一部、たとえば階調値0～32の暗部領域A_sのうち、上から1/4の接続領域A_sc(図4(b)参照)にある部分については、元の部分トーンカーブの形状から大きく変化しないようにトーンカーブを変形することも好ましい。具体的には、接続領域A_scのトーンカーブの形状は、各入力階調値に対する出力階調値の値が、元のトーンカーブによって決まる出力階調値と、ユーザによって指定された2次曲線やスプライン曲線等の曲線によって決まる出力階調値と、の間の重み付け平均値となるように決定される。接続領域A_scの上限(入力階調値32)においては、元のトーンカ
20

ープの重みが100%である。そして、接続領域A_{s c}の下限（入力階調値24）においては、指定された曲線の重みが100%である。重みは、入力階調値が低い方から高い方に向けて、元のトーンカーブの重みが大きくなるように変化する。

5

同様に、明部領域A_hのうち、下から1/4の接続領域A_{h c}（図4（c）参照）については、元の部分トーンカーブの形状から大きく変化しないように、元の曲線と、ユーザの指定に基づいて暫定的に決定される曲線（2次曲線やスプライン曲線など）と、の重み付け平均を利用して曲線の形状を決定することも好ましい。

10

さらに、最も明るい色の明るさを調整する際のトーンカーブL_{2 1}（図5参照）の形状も、第1実施例において示した方法のほか、上記と同様の方法で決定することができる。すなわち、トーンカーブL_{2 1}の形状は、具体的には、各入力階調値に対する出力階調値の値が、トーンカーブL_{2 2}によって決まる出力階調値と、直線L_{2 3}によって決まる出力階調値と、の間の重み付け平均値となるように決定することができる。移行領域A_tの下限（入力階調値160）において、トーンカーブL_{2 2}の重みが100%とする。そして、移行領域A_tの上限（入力階調値255）において、直線L_{2 3}の重みが100%とする。重みは、入力階調値が高い方から低い方に向けて、トーンカーブL_{2 2}の重みが大きくなるように変化する。

15

20

第1実施例においては、部分的にトーンカーブの形状が改変される暗部領域A_sは、入力階調値が0～32の領域であった。しかし、部分的にトーンカーブの形状を改変する領域は、他の範囲とすることもできる。たとえば、0～64であってもよい。ただし、入力階調値がとりうる値の範囲のうち下から20%までの範囲に含まれる領域であることが好ましく、下から12.5%までの範囲に含まれる領域であることがさらに好ましい。

また、第1実施例においては、部分的にトーンカーブの形状が改変される明部領域A_hは、入力階調値が192～255の領域であった。しかし、部分的にトーンカーブの形状を改変する領域は、他の範囲とすることもできる。たとえば、160～255であってもよい。また、部分的にトーンカーブの形状が改変される領域は、階調値がとりうる範囲のうち中央の値（第1実施例において126）を含み、両端の値（第1実施例において0と255）を含まない所定の範囲であってもよい。ただし、入力階調値がとりうる値の範囲のうち上から40%までの範囲に含まれる領域であることが好ましく、上から25%までの範囲に含まれる領域であることがさらに好ましい。

D6. 変形例6

第1実施例においては、暗部領域A_sと明部領域A_hのトーンカーブの変形は、最も出力階調値が変化する点の明度の変化がプラスマイナス10の範囲内となるように行われた（図4（b）および図4（c）参照）。しかし、トーンカーブの変形は、より広い範囲で行われてもよく、また、より狭い範囲に限定して行われてもよい。また、トーンカーブの変形幅は、印刷媒体の種類に応じて

決定してもよい。たとえば、全体的な階調変化が大きい紙（広い範囲の階調を再現できる紙）では、比較的広く設定し、それよりも再現できる階調範囲が狭い場合には、それよりも狭く設定することも好ましい。

5 D 7. 変形例 7

第 1 実施例においては、カラー印刷を行う場合には、ユーザは、トーンカーブに対応するパラメータであるガンマ値を 3 個の候補値の中から選択した。そして、モノクロ印刷を行う場合には、ユーザは、ガンマ値を 6 個の候補値の中から選択した。しかし、選択するパラメータの数はこれら限られず、他の数と
10 することもできる。すなわち、モノクロ印刷を行う場合に選択できるパラメータの数が、カラー印刷を行う場合に選択できるパラメータの数よりも多ければよい。ただし、モノクロ印刷を行う場合に選択できるパラメータの数が、カラー印刷を行う場合に選択できるパラメータの数の倍以上であることが好ましい。

15 D 8. 変形例 8

第 1 実施例および第 2 実施例においては、モノクロ印刷において使用される印刷用 1 次元ルックアップテーブルの出力階調値は 0 ～ 6 5 5 3 5 (1 6 b i t) であり、カラー印刷において使用される印刷用 3 次元ルックアップテーブルの出力階調値は 0 ～ 2 5 5 (8 b i t) であった。しかし、出力階調値の幅
20 はこれらの数値に限られず、他の範囲とすることもできる。ただし、モノクロ印刷において使用されるルックアップテーブルの出力階調値がとりうる値の幅が、カラー印刷において使用されるルックアップテーブルの出力階調値がとりうる値の幅よりも広いことが好ましい。

D 9. 変形例 9

上述した各実施形態では、有彩色インクとしてC, M, Yの3種類のインクを用いていたが、他の色を使用することもできる。たとえば、レッドやグリーン、パープルなどの有彩色インクや、ライトシアン、ライトマゼンタ、ダークイエロなどの同色系の濃淡有彩色インクを用いることも可能である。

また、第1実施例、第2実施例においては、モノクロ印刷において使用される印刷用1次元ルックアップテーブルは、第1～第3の無彩色インクおよびシアン、マゼンタ、イエロからなる表色系の出力階調値を有していた。しかし、モノクロ印刷において使用される印刷用1次元ルックアップテーブルは、他の色であってプリンタで使用されるインク色の出力階調値を含んでいてもよい。また、ブラック一色のみの出力階調値を有していてもよい。

D 10. 変形例 10

第1実施例、第2実施例においては、カラー、モノクロ印刷において、変換曲線に応じて印刷用基準ルックアップテーブルを変換し、印刷用ルックアップテーブルを生成する。しかし、画像変換に使用されるハードウェアの処理能力が許容する場合、変換曲線を使って、直接入力画像データを変換することもできる。

D 1 1 . 変形例 1 1

上記実施例において、ハードウェアによって実現されていた構成の一部をソフトウェアに置き換えるようにしてもよく、逆に、ソフトウェアによって実現されていた構成の一部をハードウェアに置き換えるようにしてもよい。例えば、

5 プリントドライバ 9 6 (図 1 参照) の機能の一部をプリンタの CPU 4 1 が実行するようにすることもできる。また、上記実施例において、ドライバによって実現されていた構成の一部をアプリケーションソフトに置き換えるようにしてもよく、逆に、アプリケーションソフトによって実現されていた構成の一部をドライバに置き換えるようにしてもよい。

10

このような機能を実現するコンピュータプログラムは、フロッピディスクや CD-ROM 等の、コンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録された形態で提供される。ホストコンピュータは、その記録媒体からコンピュータプログラムを読み取って内部記憶装置または外部記憶装置に転送する。あるいは、通信

15 経路を介してプログラム供給装置からホストコンピュータにコンピュータプログラムを供給するようにしてもよい。コンピュータプログラムの機能を実現する時には、内部記憶装置に格納されたコンピュータプログラムがホストコンピュータのマイクロプロセッサによって実行される。また、記録媒体に記録されたコンピュータプログラムをホストコンピュータが直接実行するようにしても

20 よい。

この明細書において、コンピュータとは、ハードウェア装置とオペレーションシステムとを含む概念であり、オペレーションシステムの制御の下で動作す

るハードウェア装置を意味している。コンピュータプログラムは、このようなコンピュータに、上述の各部の機能を実現させる。なお、上述の機能の一部は、アプリケーションプログラムでなく、オペレーションシステムによって実現されていても良い。

5

なお、この発明において、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスクやCD-ROMのような携帯型の記録媒体に限らず、各種のRAMやROM等のコンピュータ内の内部記憶装置や、ハードディスク等のコンピュータに固定されている外部記憶装置も含んでいる。

10

また、コンピュータプログラム製品は、様々な態様で実現することができる。たとえば、以下のような態様である。

(i) コンピュータ読み取り可能な記録媒体。たとえば、フレキシブルディスク、光ディスク、半導体メモリなど。

15 (ii) コンピュータプログラムを含み、搬送波内で具現化されたデータ信号。

(iii) 磁気ディスクや半導体メモリなどのコンピュータ読み取り可能な記録媒体を含むコンピュータ。

(iv) データ搬送はを介してメモリ内に一時的にコンピュータプログラムを格納しているコンピュータ。

20

以上では、本願発明をその好ましい例示的な実施例参照して詳細に説明した。しかし、本願発明は、以上で説明した実施例や構成に限定されるものではない。そして、本願発明は、様々な変形や均等な構成を含むものである。さらに、開示された発明の様々な要素は、様々な組み合わせおよび構成で開示されたが、

それらは例示的な物であり、各要素はより多くてもよく、また少なくてもよい。そして、要素は一つであってもよい。それらの態様は本願発明の範囲に含まれるものである。

5

産業上の利用可能性

本発明は、画像データを編集するための種々のアプリケーションソフトウェアや画像処理装置に適用可能である。

請求の範囲

1. 画像データの画像の色調を改変して新たな画像データを生成する画像処理装置であって、

5 画像データの画素の色を改変するためのパラメータであって、互いに異なる
改変内容に対応する複数の改変候補パラメータを格納しているパラメータ候補
記憶部と、

ユーザに、前記改変候補パラメータの中からパラメータを選択させるユーザ
インターフェイス部と、

10 前記選択されたパラメータに応じて、画像の色調を改変する対象である対象
画像データから、前記対象画像データとは少なくとも一部の画素の色が異なる
改変画像データを生成する画像変換部と、を備え、

前記複数の改変候補パラメータは、

カラー画像データ用の N_c 個 (N_c は正の整数) のカラー画像用改変候補パ
ラメータと、

15 モノクロ画像データ用の N_m 個 (N_m は N_c より大きい整数) のモノクロ画
像用改変候補パラメータと、を含み、

前記ユーザインターフェイス部は、

前記対象画像データがカラー画像データであるときには、ユーザに、 N_c 個
の前記カラー画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択させ、

20 前記対象画像データがモノクロ画像データであるときには、ユーザに、 N_m
個の前記モノクロ画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択させ

る、画像処理装置。

2. 請求項1記載の画像処理装置であって、

前記複数の改変候補パラメータは、階調変換特性を表すパラメータである、

5 画像処理装置。

3. 請求項1記載の画像処理装置であって、さらに、

画素の色の改変を実現するための変換曲線であって、入力階調値に対応する
出力階調値を与える変換曲線を、前記選択されたパラメータに応じて準備する

10 変換曲線準備部を備え、

前記ユーザインターフェイス部は、

前記対象画像データがモノクロ画像データであるときには、前記変換曲線の
うち前記入力階調値が所定の範囲内にある第1の部分を変更せずに第2の部分
を変更するための部分調整入力画面をユーザに提供し、

15 前記画像処理装置は、さらに、前記部分調整入力画面を介したユーザの指示
に応じて前記変換曲線の前記第2の部分を変更する変換曲線改変部を備え、

前記画像変換部は、前記変換曲線に基づいて前記対象画像データの画素の前
記階調値を変更して前記改変画像データの画素の階調値を得る、画像処理装置。

20 4. 請求項3記載の画像処理装置であって、

前記第 2 の部分は、前記入力階調値がとりうる値の範囲のうち上から 40 % までの範囲に含まれる領域に相当する部分である、画像処理装置。

5. 請求項 3 記載の画像処理装置であって、

5 前記第 2 の部分は、前記入力階調値がとりうる値の範囲のうち下から 25 % までの範囲に含まれる領域に相当する部分である、画像処理装置。

6. 請求項 4 記載の画像処理装置であって、

10 前記変換曲線改変部は、前記変換曲線の出力階調値の変化が、 $L^*a^*b^*$ 表色系の L^* で表したときにプラスマイナス 10 の範囲内となるように、前記変換曲線を改変する、画像処理装置。

7. 請求項 4 記載の画像処理装置であって、さらに、

15 前記対象画像データの画像を印刷する印刷媒体の種類を受けとる媒体種類入力部と、

前記印刷媒体の種類の情報に応じて、前記変換曲線改変部による前記変換曲線の出力階調値の改変の許容範囲を決定する改変範囲決定部と、を備え、

前記変換曲線改変部は、前記変換曲線の出力階調値の変化の大きさが前記許容範囲内となるように前記変換曲線を改変する、画像処理装置。

8. 請求項 3 記載の画像処理装置であって、

前記変換曲線改変部は、入力階調値がとりうる値のうちで最も高い値を、出力階調値がとりうる値で最も高い値よりも低い値に変換するように、前記変換曲線の前記第 2 の部分を改変する画像処理装置。

5

9. 請求項 3 記載の画像処理装置であって、

前記変換曲線改変部は、入力階調値がとりうる値のうちで最も低い値を、出力階調値がとりうる値で最も低い値よりも高い値に変換するように、前記変換曲線の前記第 2 の部分を改変する画像処理装置。

10

10. 請求項 3 記載の画像処理装置であって、

前記モノクロ画像データは、各画素の明度が階調値で表されている画像データであり、

前記画像処理装置は、さらに、前記対象画像データがモノクロ画像データであるときに、前記変換曲線に応じてモノクロ画像用変換テーブルを生成する変換テーブル生成部を備え、

前記モノクロ画像用変換テーブルは、前記モノクロ画像データを、所定の第 1 の表色系の階調値で表された画像データに変換するための変換テーブルであって、前記階調値で表現された無彩色のうち少なくとも一部を明度の異なる色に改変する変換テーブルであり、

20

前記画像変換部は、前記対象画像データが前記モノクロ画像データであると

きに、前記モノクロ画像用変換テーブルに基づいて、前記対象画像データを前記改変画像データに変換する、画像処理装置。

11. 請求項10記載の画像処理装置であって、

5 前記カラー画像データは、各画素の色が第2の表色系の階調値で表されている画像データであり、

前記変換テーブル生成部は、前記対象画像データがカラー画像データであるときに、前記変換曲線に応じてカラー画像用変換テーブルを生成し、

10 前記カラー画像用変換テーブルは、前記カラー画像データを、第2の表色系とは異なる第3の表色系の階調値で表された画像データに変換するための変換テーブルであって、前記第2の表色系の階調値で表された色のうち少なくとも一部を他の色に改変する変換テーブルであり、

15 前記表色系変換部は、前記対象画像データがカラー画像データであるときに、前記カラー画像用変換テーブルに基づいて、前記対象画像データを前記改変画像データに変換し、

前記第3の表色系は、階調値が、互いに異なる M_c 個（ M_c は正の整数）の値をとりうる表色系であり、

前記第1の表色系は、階調値が、互いに異なる M_m 個（ M_m は、 M_c よりも大きい整数）の値をとりうる表色系である、画像処理装置。

20

12. 請求項10記載の画像処理装置であって、

前記モノクロ画像用変換テーブルは、色を $L^* a^* b^*$ 表色系で表したときに、前記変換曲線に応じて改変する前の色の L^* の値が、改変前の色を表す入力階調値の増加に対して線形に増加する部分を含むモノクロ画像用変換テーブルである、画像処理装置。

5

1 3. 画像データの画像の色調を改変して新たな画像データを生成する方法であって、

(a) 画像データの画素の色を改変するためのパラメータであって、互いに異なる改変内容に対応する複数の改変候補パラメータの中から、パラメータを選

10 択する工程と、

(b) 前記選択されたパラメータに応じて、画像の色調を改変する対象である対象画像データから、前記対象画像データとは少なくとも一部の画素の色が異なる改変画像データを生成する工程と、を備え、

前記複数の改変候補パラメータは、

15 カラー画像データの画素の階調値を変換するための N_c 個 (N_c は正の整数) のカラー画像用改変候補パラメータと、

モノクロ画像データの画素の階調値を変換するための N_m 個 (N_m は N_c より大きい整数) のモノクロ画像用改変候補パラメータと、を含み、

前記工程 (a) は、

20 (a 1) 前記対象画像データがカラー画像データであるときに、 N_c 個の前記カラー画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択する工程と、

(a 2) 前記対象画像データがモノクロ画像データであるときに、Nm個の前記モノクロ画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択する工程と、を含む方法。

5 1 4. 請求項1 3記載の方法であって、さらに、

(c) 画素の色の改変を実現するための変換曲線であって、入力階調値に対応する出力階調値を与える変換曲線を、前記選択されたパラメータに応じて準備する工程を備え、

前記工程(a)は、

10 前記対象画像データがモノクロ画像データであるときには、前記変換曲線のうち前記入力階調値が所定の範囲内にある第1の部分を変更せずに第2の部分を改変するための部分調整入力画面がユーザに提供される工程を含み、

前記方法は、さらに、

15 (d) 前記部分調整入力画面を介したユーザの指示に応じて前記変換曲線の前記第2の部分を改変する工程を含み、

前記工程(b)は、

前記変換曲線に基づいて前記対象画像データの画素の前記階調値を改変して前記改変画像データの画素の階調値を得る工程を含む、方法。

20 1 5. 請求項1 4記載の方法であって、

前記工程（d）は、

入力階調値がとりうる値のうちで最も高い値を、出力階調値がとりうる値で最も高い値よりも低い値に変換するように、前記変換曲線の前記第2の部分を変更する工程を含む、方法。

5

16. 請求項14記載の方法であって、

前記工程（d）は、

入力階調値がとりうる値のうちで最も低い値を、出力階調値がとりうる値で最も低い値よりも高い値に変換するように、前記変換曲線の前記第2の部分を変更する工程を含む、方法。

10

17. コンピュータに、画像データの画像の色調を変更させて新たな画像データを生成させるためのコンピュータプログラム製品であって、

コンピュータ読み取り可能媒体と、

15 前記コンピュータ読み取り可能媒体に格納されたコンピュータプログラムとを含み、

前記コンピュータプログラムは、

画像データの画素の色を変更するためのパラメータであって、互いに異なる変更内容に対応する複数の変更候補パラメータの中から、ユーザに、パラメータを選択させる機能と、

20

前記選択されたパラメータに応じて、画像の色調を改変する対象である対象画像データから、前記対象画像データとは少なくとも一部の画素の色が異なる改変画像データを生成する機能と、をコンピュータに実現させることができ、

前記複数の改変候補パラメータは、

- 5 カラー画像データの画素の階調値を変換するための N_c 個 (N_c は正の整数) のカラー画像用改変候補パラメータと、

モノクロ画像データの画素の階調値を変換するための N_m 個 (N_m は N_c より大きい整数) のモノクロ画像用改変候補パラメータと、を含み、

前記コンピュータプログラムは、さらに、

- 10 前記対象画像データがカラー画像データであるときには、ユーザに、 N_c 個の前記カラー画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択させ、

前記対象画像データがモノクロ画像データであるときには、ユーザに、 N_m 個の前記モノクロ画像用改変候補パラメータの中から、パラメータを選択させる機能を前記コンピュータに実現させることができる、コンピュータプログラ

- 15 ム製品。

18. 請求項17記載のコンピュータプログラム製品であって、

前記コンピュータプログラムは、さらに、

- 20 画素の色の改変を実現するための変換曲線であって、入力階調値に対応する出力階調値を与える変換曲線を、前記選択されたパラメータに応じて準備させる機能をコンピュータに実現させることができ、

前記ユーザにパラメータを選択させる機能は、

前記対象画像データがモノクロ画像データであるときには、前記変換曲線のうち前記入力階調値が所定の範囲内にある第 1 の部分を改変せずに第 2 の部分を改変するための部分調整入力画面をユーザに提供する機能を含み、

5 前記コンピュータプログラムは、さらに、

前記部分調整入力画面を介したユーザの指示に応じて前記変換曲線の前記第 2 の部分を改変する機能をコンピュータに実現させることができ、

前記改変画像データを生成する機能は、

10 前記変換曲線に基づいて前記対象画像データの画素の前記階調値を改変して前記改変画像データの画素の階調値を得る機能を含む、コンピュータプログラム製品。

19. 請求項 18 記載のコンピュータプログラム製品であって、

前記第 2 の部分を改変する機能は、

15 入力階調値がとりうる値のうちで最も高い値を、出力階調値がとりうる値で最も高い値よりも低い値に変換するように、前記変換曲線の前記第 2 の部分を改変する機能を含む、コンピュータプログラム製品。

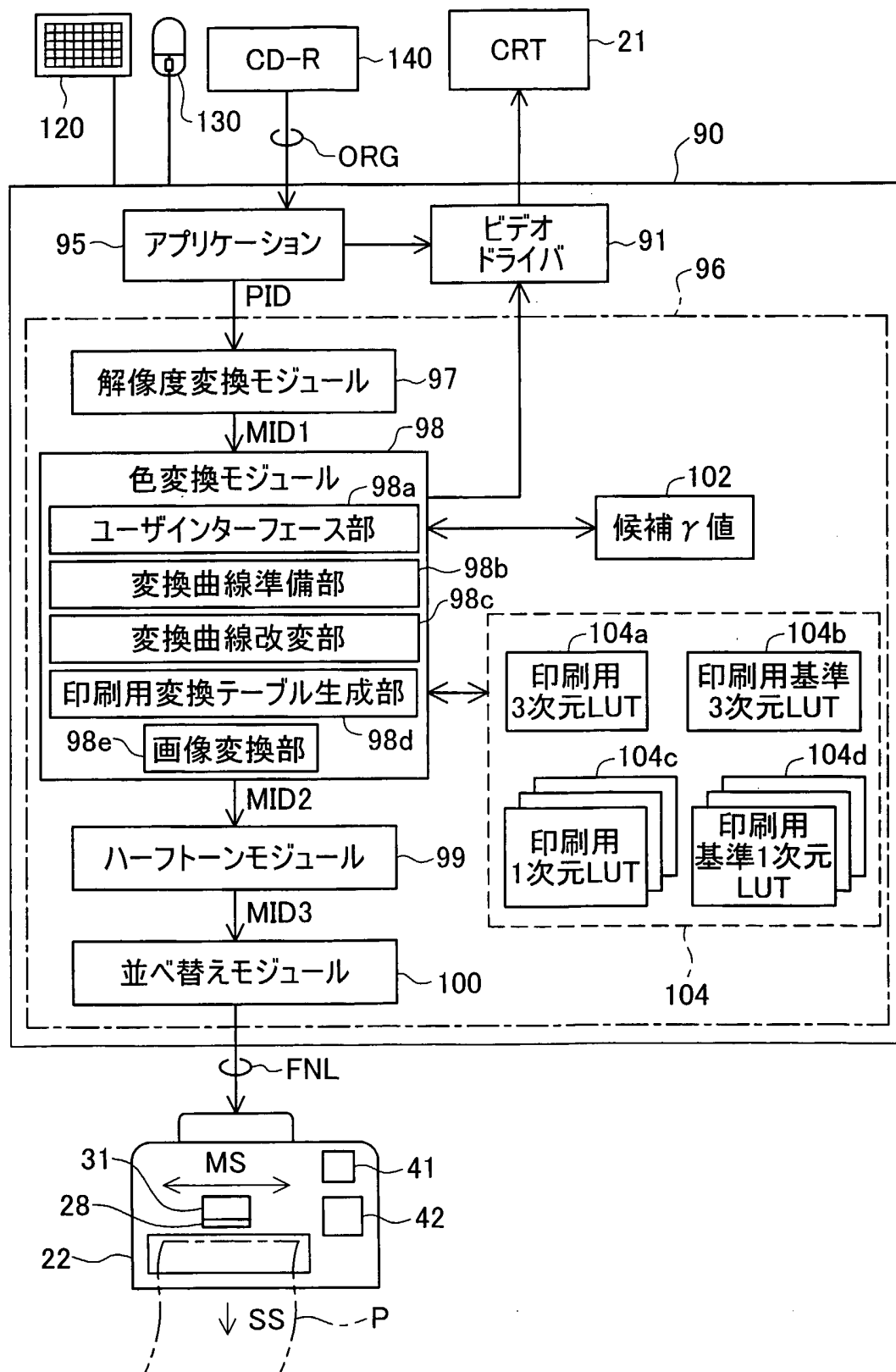
20. 請求項 18 記載のコンピュータプログラム製品であって、

20 前記第 2 の部分を改変する機能は、

入力階調値がとりうる値のうちで最も低い値を、出力階調値がとりうる値で最も低い値よりも高い値に変換するように、前記変換曲線の前記第 2 の部分を改変する機能を含む、コンピュータプログラム製品。

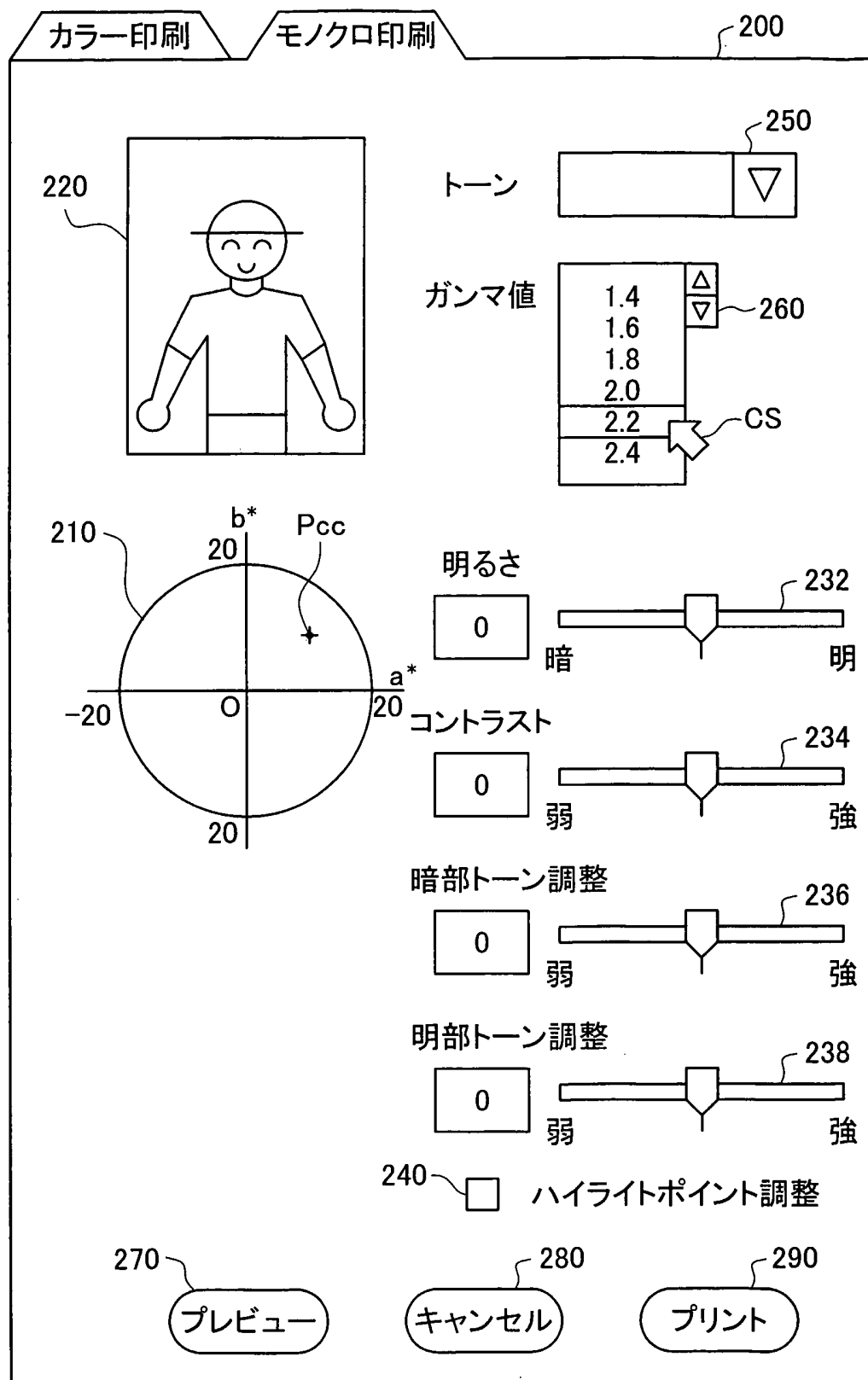
1/10

図 1



2/10

図 2



3/10

図 3

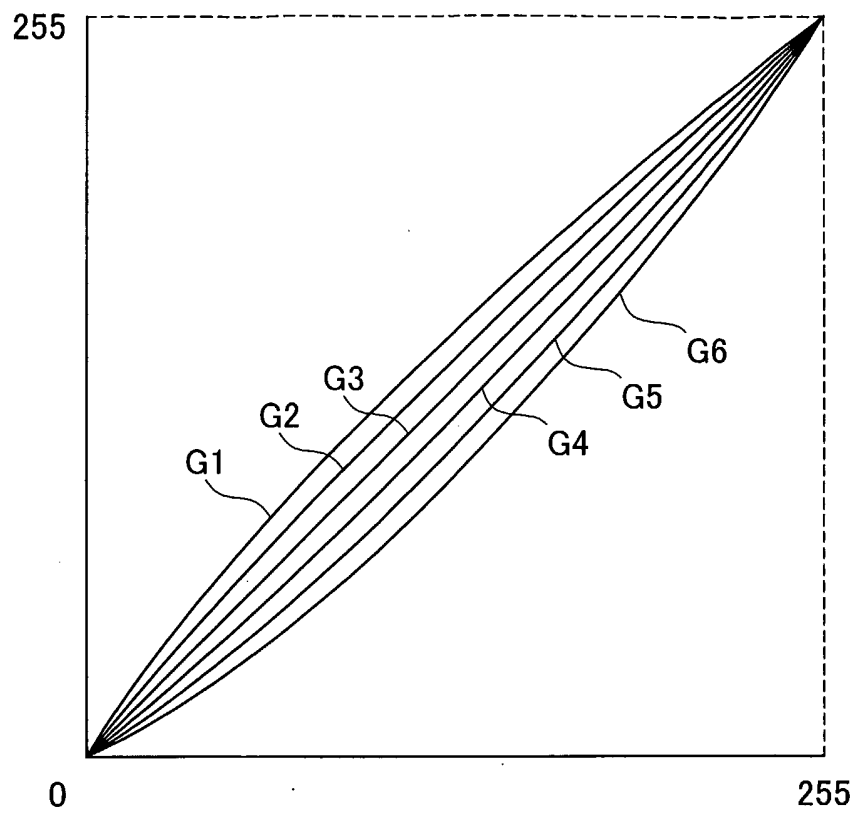
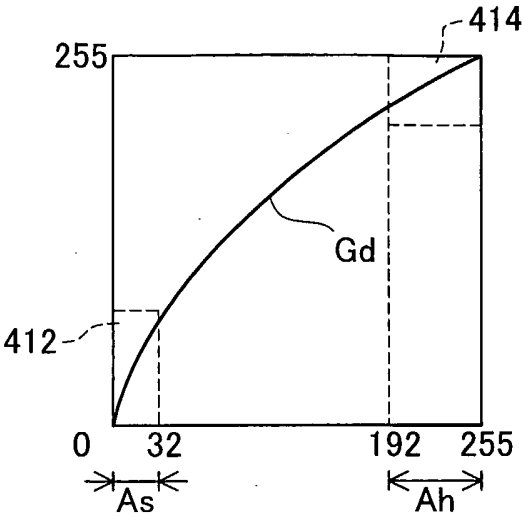
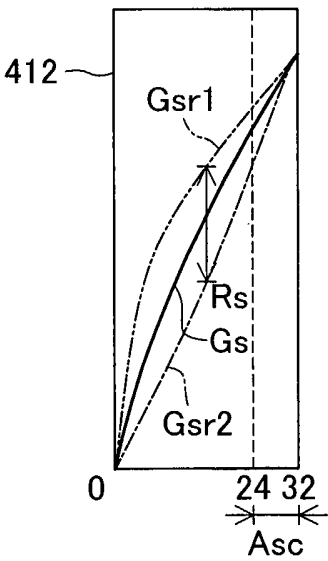


図 4

(a)



(b)



(c)

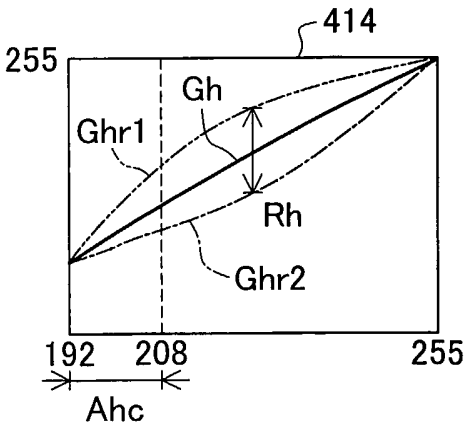
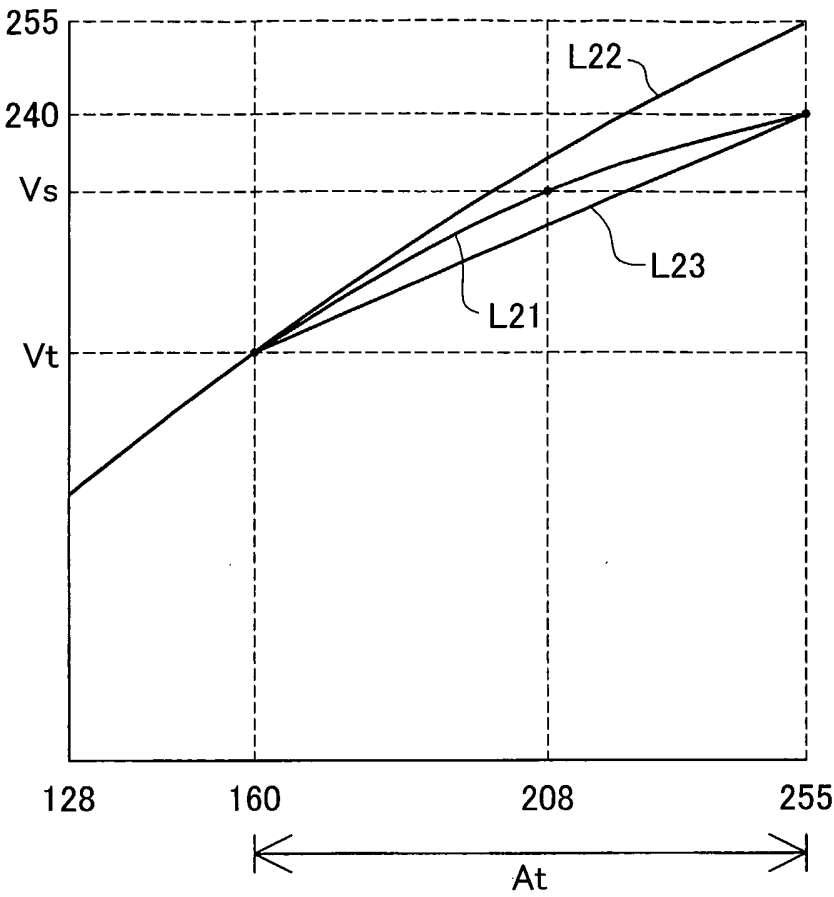
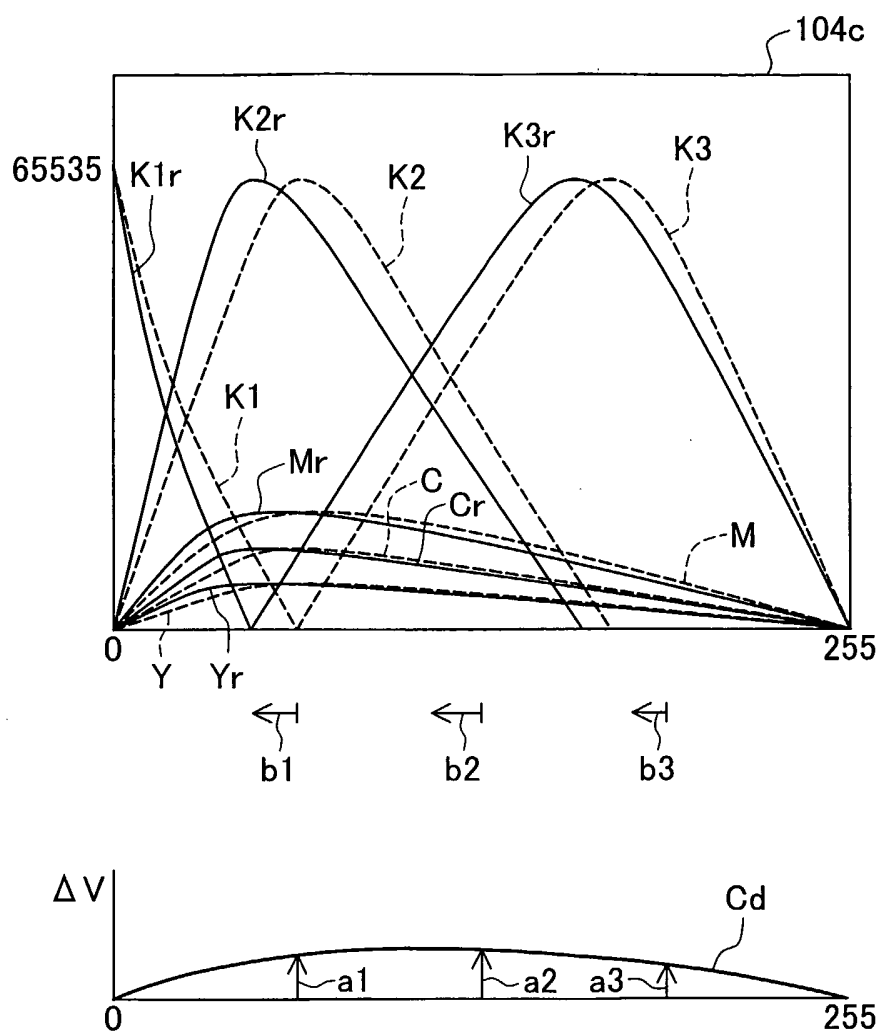


図 5



6/10

図 6



7/10

図 7

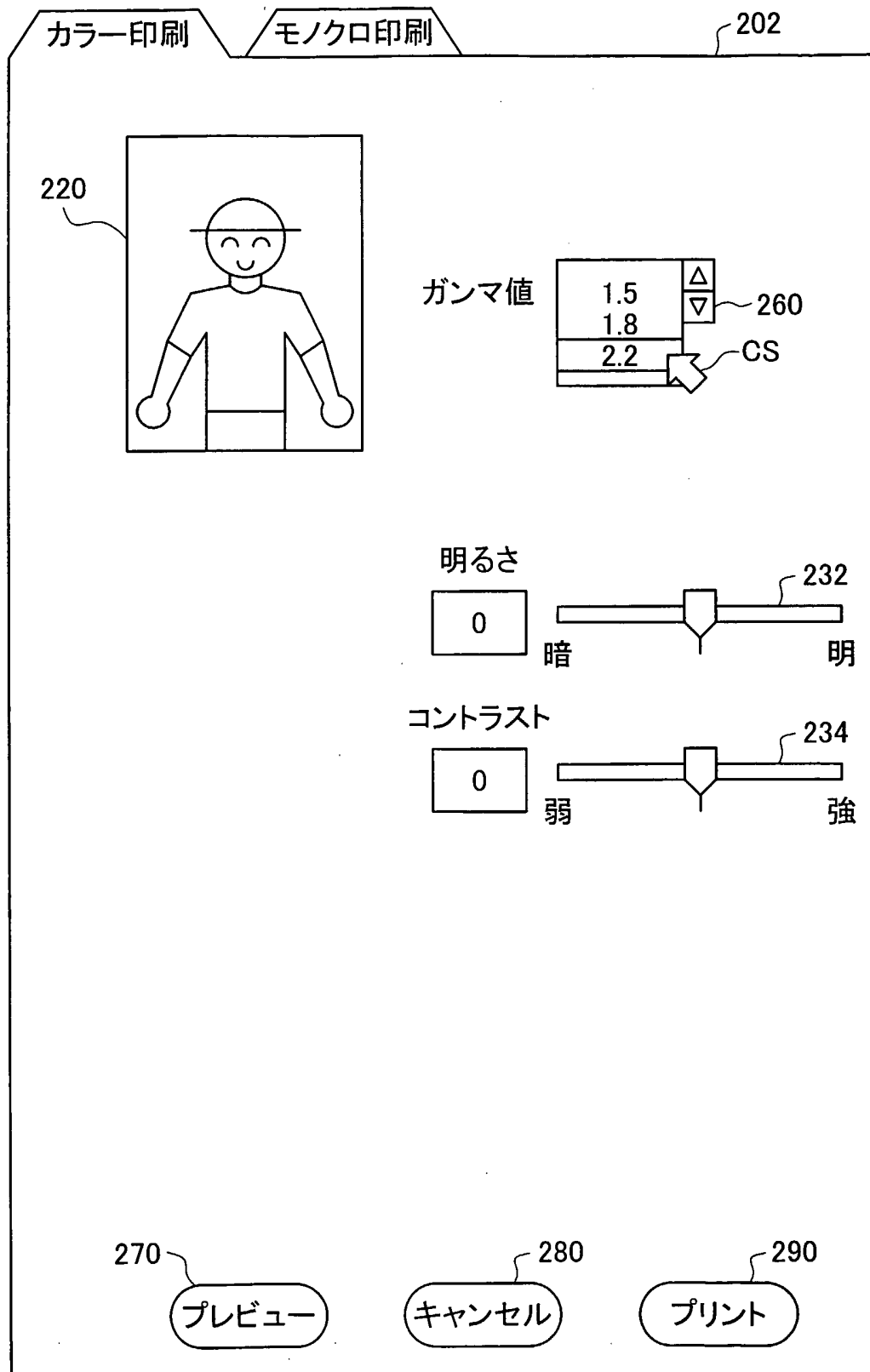


図 8

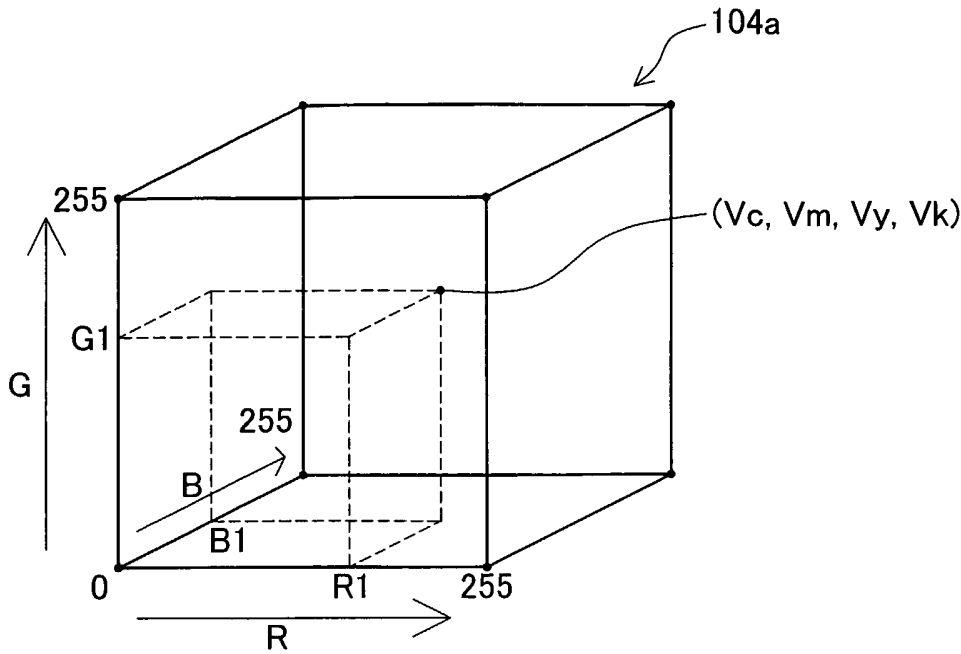
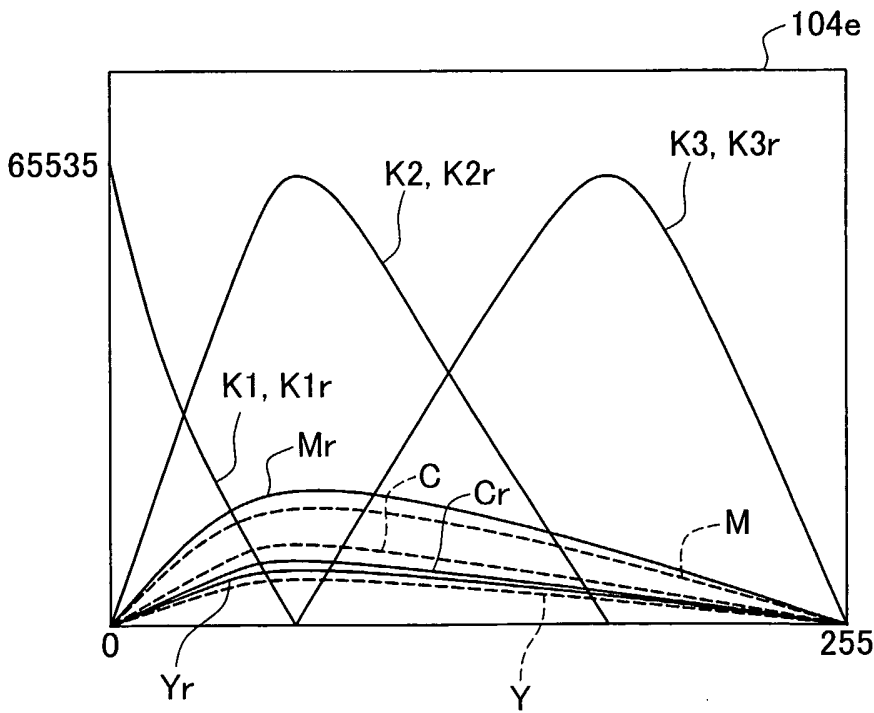


図 9



9/10

図 10

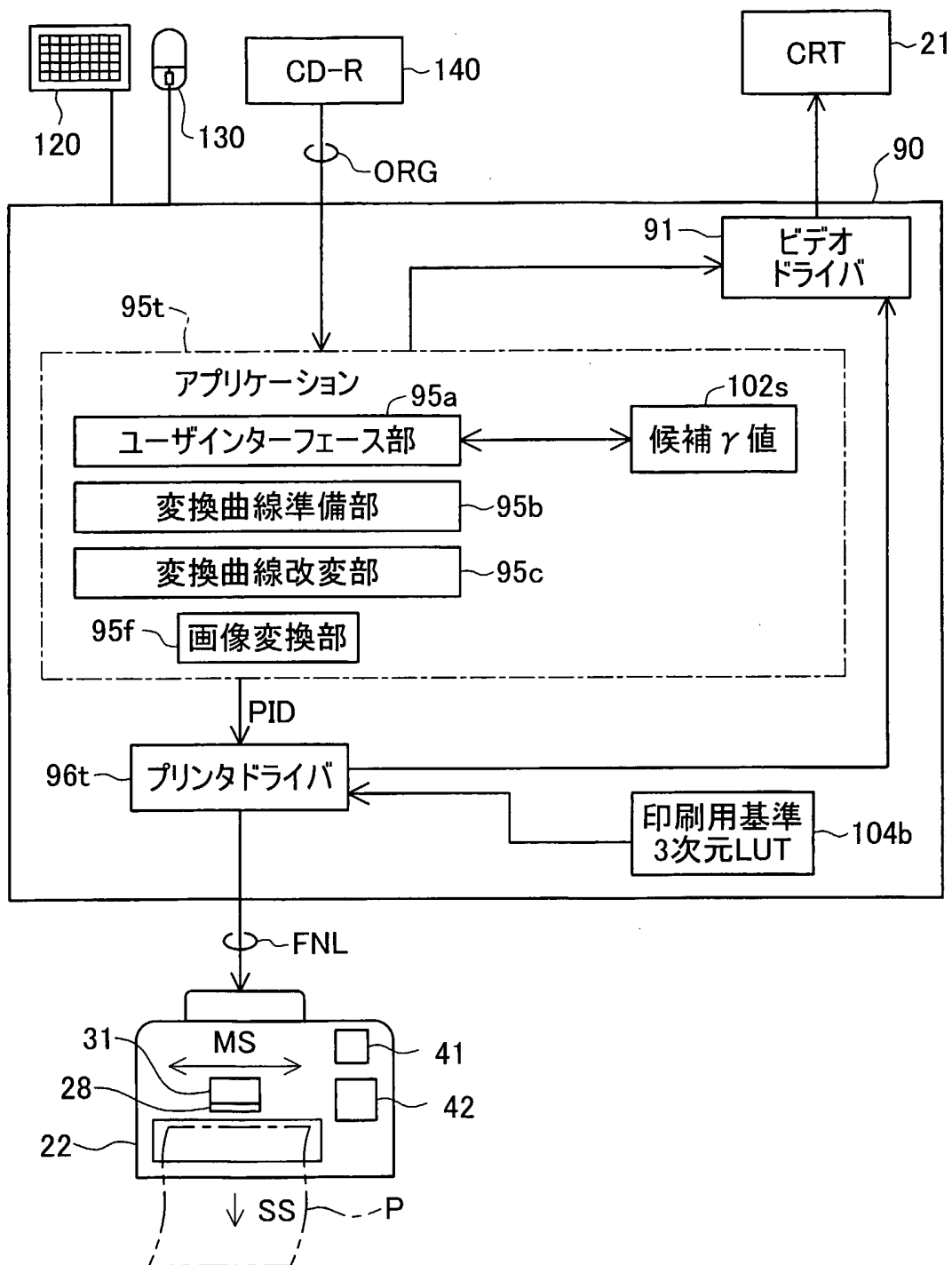


図 11

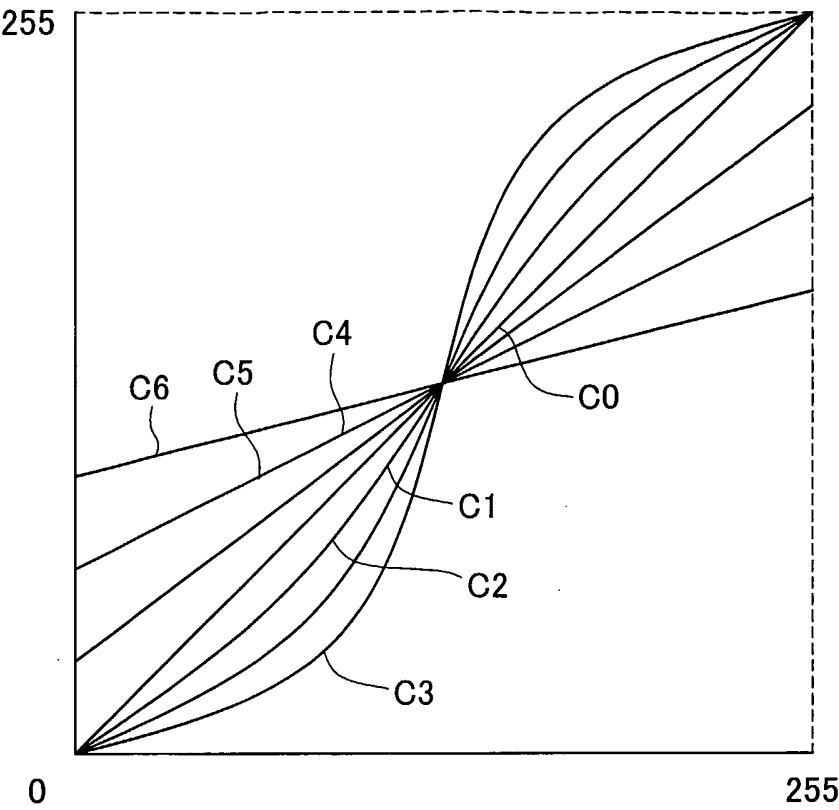
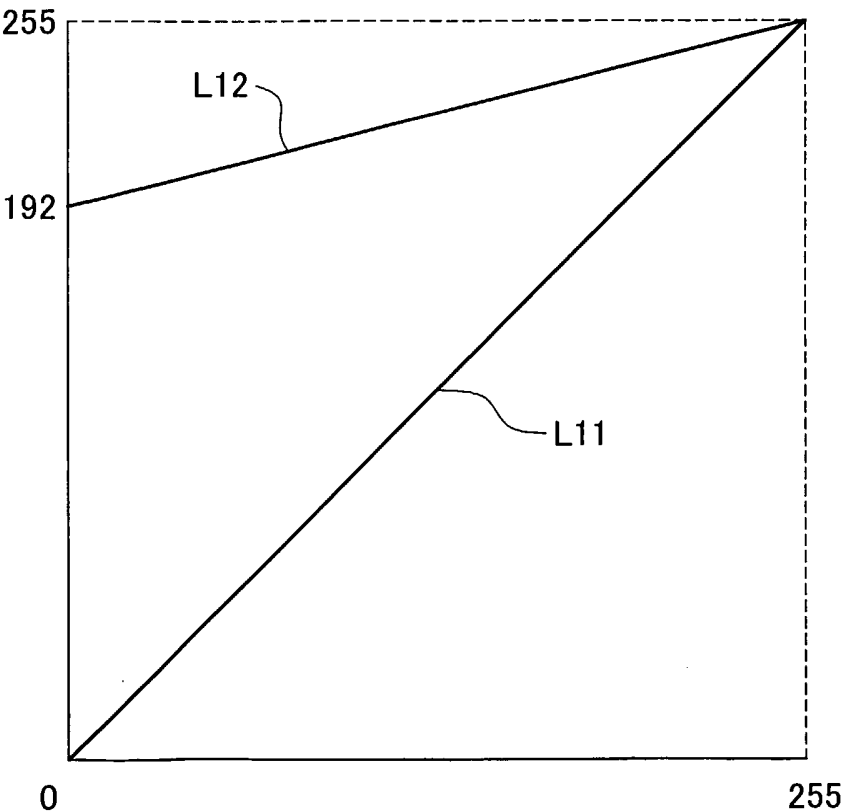


図 12



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/014714

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER H04N1/46 (2006.01), G06T5/00 (2006.01), H04N1/407 (2006.01), H04N1/60 (2006.01) According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) H04N1/46 (2006.01), G06T5/00 (2006.01), H04N1/407 (2006.01), H04N1/60 (2006.01) Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2005 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2005 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2005 Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 7-236067 A (Hewlett-Packard Co.), 05 September, 1995 (05.09.95), Par. Nos. [0006] to [0011]; Figs. 1 to 12 & US 006040927 A1 & US 006015207 A1 & EP 000665677 A3 & DE 069524651 D	1-20
Y	Etsuro ENDO, Adobe Photoshop AtoZ, 1st edition, Kabushiki Kaisha BNN, 15 February, 1993 (15. 02.93), pages 156 to 178	1-20
Y	JP 11-355584 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 24 December, 1999 (24.12.99), Par. Nos. [0048] to [0082]; Figs. 1 to 7 (Family: none)	1-20
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 14 November, 2005 (14.11.05)		Date of mailing of the international search report 22 November, 2005 (22.11.05)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer
Facsimile No.		Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/014714

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 10-4494 A (Canon Inc.), 06 January, 1998 (06.01.98), A Par. Nos. [0056] to [0057]; Fig. 27 (Family: none)	3-12, 14-16, 18-20 1, 2, 13, 17
A	JP 9-146721 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 06 June, 1997 (06.06.97), Par. Nos. [0030] to [0125]; Figs. 1 to 14 (Family: none)	1-20

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. **H04N1/46** (2006.01), **G06T5/00** (2006.01), **H04N1/407** (2006.01), **H04N1/60** (2006.01)

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. **H04N1/46** (2006.01), **G06T5/00** (2006.01), **H04N1/407** (2006.01), **H04N1/60** (2006.01)

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 7-236067 A (ヒューレット・パカード・カンパニー) 1995. 09. 05, 【0006】 ~ 【0011】 & 第 1-12 図 & US 006040927 A1 & US 006015207 A1 & EP 000665677 A3 & DE 069524651 D	1-20
Y	遠藤悦郎, Adobe Photoshop AtoZ, 初版, 株式会社ビー・エヌ・エヌ, 1993. 2. 15, P156-178	1-20
Y	JP 11-355584 A (富士写真フイルム株式会社) 1999. 12. 24, 【0048】 ~ 【0082】 & 第 1-7 図 (ファミリーなし)	1-20

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

14. 11. 2005

国際調査報告の発送日

22. 11. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

5V

8834

仲間 晃

電話番号 03-3581-1101 内線 3571

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 10-4494 A (キヤノン株式会社) 1998. 01. 06, 【0056】 ~ 【0057】 &第 27 図 (ファミリーなし)	3-12, 14-16, 18-20
A		1, 2, 13, 17
A	JP 9-146721 A (富士写真フイルム株式会社) 1997. 06. 06, 【0030】 ~ 【0125】 &第 1-14 図 (ファミリーなし)	1-20